

2021年11月1日



月刊

もぐら通信

2024年11月1日 第146号 初版

<http://abekobosplace.blogspot.jp>

あなたへ:
迷う事のない迷路を通して
あなただけの番地が届きます

電話
042-ABE-KOBO

FAX
042-KOBO-ABE

もぐら通信を自由にあなたの《友達》に配付して下さい



Alice in Wonderland by S.. Dali



目次

- 1 目次...page 2
- 2 記録&ニュース&掲示板page 3
- 3 巻頭詩（30）：冬の噴水：ジョン・ホロウェイ.....page 20
- 4 周辺飛行（54）：4。『安部公房スタジオ会員通信』（11）：第11号：最終回：岩田英哉...page 24
- 5 『文章読本』論（10）：井上ひさし：岩田英哉.....page 27
- 6 糞尿と性愛の文学~生殖器・排泄器同一社会論仮説~（3）：1。古事記の中の糞尿と性愛/1.1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）：待て次号：岩田英哉...page
- 7 贗物の国アメリカ（5）：何故アメリカは何でもかんでも大衆化し通俗化するのか：岩田英哉...page 28
- 8 ネット・モナド論（22）：YouTube論（version 2.0）：岩田英哉...page 37
- 9 日本一極国家論（前篇）：岩田英哉...page 46
- 10 私の本棚（39）：井尻千夫著『消費文化の幻想』を読む：岩田英哉...page 11。『都市の回路』論（1）：岩田英哉.....page 59
- 12 *Mole Hole Letter*（68）：超越論II（第十二回）：岩田英哉...page 66
- 13 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（27）：5.19クラとは何か：岩田英哉...page 75
- 14 Topologyで日本の文化を解説する：内なる辺境シリーズ（12）：扇：岩田英哉... page
- 15 編集後記...page 77
- 16 編集方針.....page 78

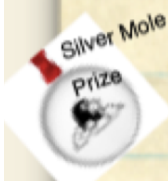


The best tweets of the month



かねみき ♪ベリーバッド系 にせはぼ@KaneMiki-Oct 20
起床するたびに/安部公房に変身した自分を見る日々。/いまだになれない...
Quote Tweet

かねみき ♪ベリーバッド系 にせはぼ@KaneMiki-Oct 8
Hello, World な気分
Show this thread

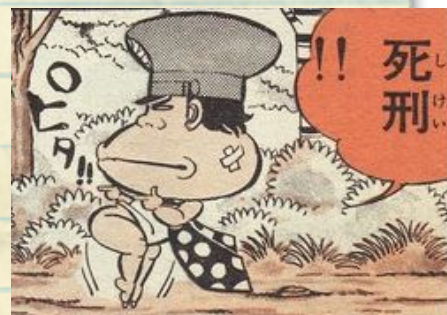


Cyclone小澤Cyclone@norumidaketa-Oct 24
ふと思い立って、『壁』(安部公房 新潮文庫 昭和44/平成3)を読んだ

the worst tweet of the month

アラカビ@5arakabi5-Oct 20
安部公房は小説家のくせに長生きしたから青空文庫で
読めない。あいつマジしょうもない。

maestroは自分探しの旅に出た@maestro7399-Oct 20
てか、こんなタイトルにしといて僕、安部公房一冊も
読んだことないんですよw



今月の餃子

wu@U60377446-Oct 22
それはそうと、安部公房のwikiの写真は他に何かあったで
しょう。何なんだこの面白写真は。

今月の他人の顔

群像@gunzo_henshubu-Oct 25
創刊75周年記念企画
〈 #群像掲載の名作たち 〉

は、日本の小説家、劇作家、演出家。本名は安部 公房 (あべ きみふさ) [1][2]。

安部 公房
(あべ こうぼう)



餃子を調理している安部 公房 (1954年)

誕生

安部 公房 (あべ きみ
ふさ)

安部公房

「他人の顔」

1964年1月号 掲載

<https://twitter.com/i/status/1451916413325635585>

Haru@10konnichiwa-Oct 24

冬の夜に安部公房の「他人の顔」を読んで
怖くて泣いたことが、ある

今月の暇なバーのマスター

BAR燐光@bar_rinkou-Oct 26

本日の初めてのお客様

硬派な飲み方でファンになってしまったな

ウイスキーを

水割り、ロックといき

注文以外無言

持参の文庫本を読み耽る

店が暇で私も**安部公房**など読む

ウォッカソーダ

ウォッカへの質問を二、三

店が多少賑やかになってきたところで会計

「また来ます」と一言

痺れるじゃねえか

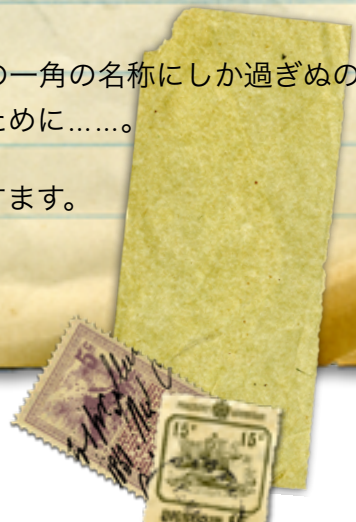
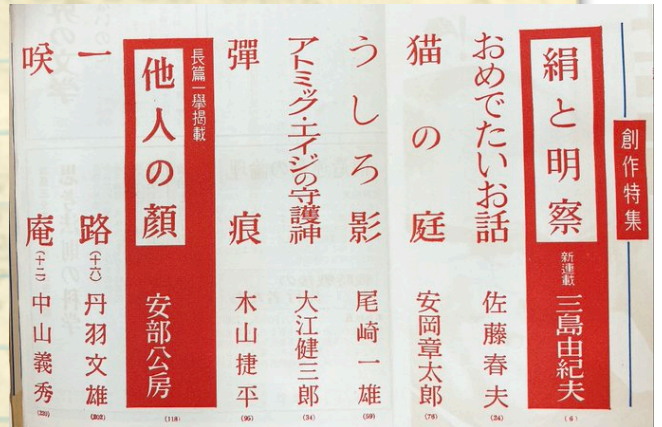
今月の終りし道の標べに

madeleine@storyforf-Oct 25

故郷とは、要するに自分の足で踏みかためられた環境の一角の名称にしか過ぎぬのではあるまいか。それもただ、《かく在る》と語り続けるために……。

だがふと《かく在る》のを忘れ去って、外の音に耳をすます。

—安部公房「終りし道の標べに」



今月の壁

芥川賞全受賞作筋書き@akutagawa_syou・Oct 27

ある朝、突然自分の名前を喪失してしまった男。彼の眼には、現実が奇怪な不条理の塊とうつる。他人との接触に支障を来たし、人形やラクダに奇妙な愛情を抱く。そして……。独特の寓意とユーモアで、孤独な人間の実存的体験を描き、その底に価値逆転の方向を探った野心作。芥川賞受賞作『壁』安部公房

madeleine@storyforf・Oct 25

ぼくの心は体より十メートルほど先を歩いていたので、もうその椅子に腰を下してほっとしていたのですが、ぼくの体のほうは丁度ドアのところまで急にわけの分らぬ変な気分襲われ立止ってしまいました。

驚いたことに、ぼくの椅子にはもうちゃんと別なぼくが掛けていたのです。

-安部公房「壁-s.カ

今月の生まれ年

一色伸幸@nobuyukiishiki・Oct 24

そして石川啄木は19才で『あこがれ』を書き、泉鏡花は21才で『冠弥左衛門』を書き、芥川龍之介は22才で『老年』を、安部公房は25才で『終りし道の標べに』を、ヘミングウェイも25才で『In our Time』を書いた。

みんな、急ごう。

Quote Tweet

Rootport 𠄎@rootport・Oct 21

「中島みゆきは23歳で『時代』を歌ってる」

「人生何周目だよ」

「宇多田ヒカルは14歳で最後のキスは煙草のflavorがしたって歌ってる」

「人生何周目だよ」

「椎名林檎は20歳で『歌舞伎町の女王』を…」

「人生何周目だよ」

「しかも上京したばかりで歌舞伎町は未訪問だったらしい」

「何周目だよ」

今月の尾崎遥

ホッタタカシ@t_hotta・Oct 20

遠野遥の「何度でも読み返すであろう3冊」

- ・安部公房『密会』
- ・夏目漱石『こころ』
- ・オーウェル『一九八四年』

今月のベーシスト

Satoo@Satoo_evapilot-Oct 20

シューゲイザーバンド始めました。

ギターが僕で、ベースは安部公房です。

今月のデンドロカカリヤ

散歩@64.6@holidaydoughnut-Oct 21

「水中都市・デンドロカカリヤ」安部公房

11編の短編集なんだけど、最初の「デンドロカカリヤ」を読んでみた。

よくわからない...

ギリシャ神話を読んでから再挑戦してみようかな...

今月のリンゴ

madeleine@storyforf-Oct 21

さながら星の運命の様に

君のリンゴも名前を忘れただらう

完結したものは名前を持たない

再び現実に復帰した

夢想の上を行く蒼い透明だ

—安部公房「リンゴの実」より

今月の旭川安部公房文学の会

三浦綾子記念文学館【公式】@hyouten1964-Oct 23

【動画追加のお知らせ】「氷点カレッジ」文学講座「安部文学の世界観」柴田望（東鷹栖安部公房の会 事務局長）<https://hyouten.com/oshirase/11512.html>

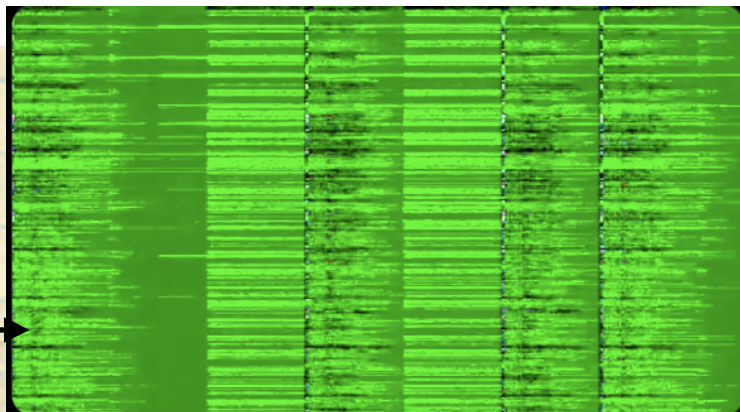
講演会動画：

<https://www.youtube.com/watch?v=-EchT-C3nNI&t=6s>

今月の片道切符

好きなフレーズ@phrase_fav-15h

片道切符とは、昨日と今日が、今日と明日が、つながりをなくして、ばらばらになってしまった生活だ。そんな、傷だらけの片道切符を鼻歌まじりにしたりできるのは、いずれがちり、往復切符を手にした人間だけに決まっている。(砂の女/安部公房)



今月の不登校児

安村 俊毅@ToshikiYasumura-Oct 24

ガンブラの横に、安部公房の本がありました。不登校軍団中学生の、読みかけの本ですね。色々乱読しまくっている子ですが、ここに至るのは、中々センスに光るものを感じます。不登校をした中学生頃、僕も安部公房を読みたくってましたし、色々な思いが去来しました。



今月の箱男

ハーバーKED(読書垢)@K00701273-Oct 23

#推理小説好きに読んでほしい純文学作品

安部公房？バリバリの純文学作家やん！メンドイ。そう言う皆さん。この作品はちょっと推理小説のように読めてしまうのです。「箱男」は何を例えた存在か？「鷹箱男」とは？挿入される写真に意図はあるか？そして最後の一行の意味は？謎を解く探偵は貴方です。



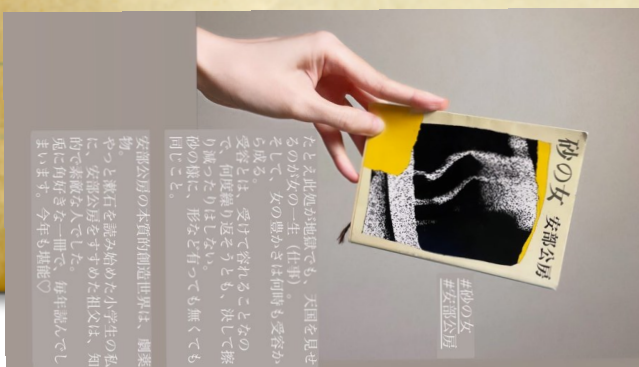
今月の安部公房劇薬説

Kurihara Yui@neroli0517-Oct 23

#安部公房 #砂の女

たとえ此処が地獄でも、天国を見せるのが女の一生。
そして女の豊かさは何時も受容から成る。
受容とは受けて容れることなので、何度繰り返そうとも決めています。
砂の様に形など有っても無くても同じこと。

安部公房の本質的創造世界は、劇薬物。



今月の人類の退化

ホッタタカシ@t_hotta-Oct 26

安部公房『第四間氷期』のような水棲人間への進化はまだ始まってないようだ。

【ソニーがSF作家と協力し「2050年の未来予想図」を発表】

<https://nazology.net/archives/98488>



今月の勝見博士

有沢翔治@読書垢、創作垢(文芸同人誌配布中)@shoji_arisawa-Oct 26

【自動投稿】おすすめの本 安部公房『第四間氷期』「私」こと勝見博士はプログラマーである。予言機械をプログラミングを始めるが、いざテスト段階に差し掛かって、政府から圧力が加かった。それなら、一個人の運命なら予言しても構わないだろうと解釈し、対象者を選ぶが.....。

今月の盲腸

ホッタタカシ@t_hotta-Oct 21

なんか安部公房の『盲腸』が話題になってる? と思ったらこのニュースか。『盲腸』のテレビドラマ版が『羊腸人類』、戯曲版が『緑色のストッキング』です。

【豚の腎臓を人に移植する実験成功 移植待つ人に希望 米・NY大学】 TBS NEWS



今月の攻殻機動隊

ヨフネ@4fune・Oct 21

豚の腎臓を人体に接続したニュース、攻殻機動隊って例えてる人もいれば、安部公房って例えてる人もいて、Twitterでも文化圏の違いを感じている

今月の短歌

まぐ短歌@mug_tanka・Oct 21

勉強をしているあなたのお隣で
安部公房を読んでいた午後

今月の箱男2

キルケニー@イース6オンライン@kilkenny_ys・16h

シュールw

安部公房の箱男を久々読み返したくなった笑
#イース6オンライン #イース6

サルモンキー@maakeetaa・23h

安部公房の箱男、副詞を比喩に置き換えることによって荒唐無稽な世界に説得力をもたせているのが好きで、初めて読んだとき、文章から浮かび上がる映像の鮮明さや陶酔感にすっかりやられてしまって(高熱のときの悪夢のように鮮やかなビジョン)、いまだにあのときの不思議な快楽を忘れられずにいる

ねこしち@kurofunecosich・Oct 24

【本】安部公房「箱男」。段ボールを被って街を徘徊する箱男が書いたノート。ノートには箱男の手記だけでなく、新聞記事や写真も挿入されている。このノートは複数の人間によって書かれているのではないかと思う。書かれている者が書く者へと変身する。一見無国籍のように思えるが昭和の雰囲気が濃厚。

今月の密会場所

taipeimonochrome@tp_mnchrn2021・Oct 22

昨日は湯河原の温泉宿に一泊。ランチは途中の小田原で立ち寄った老舗喫茶店のビーフカレー(小田原に来るといつもここ)。このお店、安部公房と山口果林が箱根の別荘に行くときの待ち合わせ場所に使っていた“密会”場所だったりする(詳しくは『安部公房とわたし』を参照)。



今月のヘンリー・ミラー

ヘンリー・ミラーbot@henrymiller_b・Oct 26

安部公房「ミラーのおしゃべりはそのランボオの寡黙というか、沈黙からむしろスタートしていると思うのだ。僕はそう思うよ」三島由紀夫「それはまたあんなに情熱的なランボオ論を書いた理由かも知れないのだよ、あれがね。そうかもしれないのだ」

今月の方舟さくら丸

Π-2島@寝具評論家@i_slep2・Oct 23

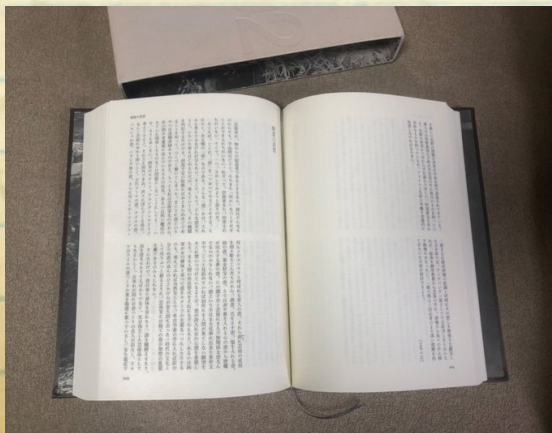
AIがテキストプロンプトからアートを生成する「Night Cafe Creator」(最近Redditとかでよく見る)が面白そうだったので、試しに安部公房『方舟さくら丸』のラストの「生き生きと死んだ街」を描いてもらった。

うん、まあまあってとこかな。

今月の安部公房全集第二巻

PloyDizzy symbol@gazemaze6・Oct 26
月一の楽しみ安部公房全集

2巻から『デンドロカカリヤ』や『壁』なんか収録されているのだけれど、意外とエッセイや対談や討論の書き起こしなんか面白いんだ



@43_yonsan・Oct 27

安部公房全集欲しくなってきたな



今月の飢餓同盟

カラシニコフ(Books)@kalashnikovread-Oct 23

シュールで前衛的な純文学作品でお馴染みの安部公房だけれど、wikiの写真が「餃子の調理中」というところが、一番のシュールの極みだよなあ。ちなみに1954年の写真らしいけど、その時に出版した作品が『飢餓同盟』という……。相当腹減っていたのかな。

今月の密会

犬井作@miduki_neko-10h

安部公房読み直したい。密会読みたいんだよな

今月の第四間氷期

日本近代文学会運営委@amjls_dcuot-Oct 21

[秋季大会事前登録受付中] <https://amjls.jp/archives/1008>

【10/23 13:20~14:50】加藤優「安部公房『第四間氷期』における「未来」-東京湾表象を視座に」後藤田和「住井すゑ『橋のない川』と下原温子の詩作-六〇年代の部落解放運動とジェンダー」

オンライン学会事前登録・発表資料ページ(2021年度秋季大会): <https://amjls.jp/archives/1008>

今月の雑の部

菜奈氏大統領@nana_fighter7-Oct 20

安部公房の話面白すぎいい加減にしろ

akiyo@gegegenoakiyo-Oct 21

寒くなると話題に挙がる例のアクセサリを贈られる、そんな青春を送りたかったです。安部公房全集とか集めてる場合じゃなかった。寝ましようね。

団子坂いぬじゃら@aburi_re-Oct 26

安部公房なんて箱男しか読んだことないんですけども。

まいどなしもち@moti_74-Oct 19

やっと砂の女読んでるんだけど安部公房の文体すきだな～～

ステキ言葉bot@sutekibot2-Oct 23

「明日のない希望よりも、むしろ絶望の明日を」 安部公房

ステキ言葉bot@sutekibot2-Oct 21

「人間は生まれ故郷を去ることはできる。しかし無関係になることはできない」
安部公房

chikako@chiiiiichikako · Oct 24

【朗読会】 ~ 三味線はなにを語るのか | 銭屋本舗本館 [https://zeniyahompo.com/event/post-1758/...](https://zeniyahompo.com/event/post-1758/)

清志郎さん出演。

<https://zeniyahompo.com/event/post-1758/>

今月の弱者への殺意ある愛

山下@kurocyo2 · Oct 22

宇佐美が尾形へ向けるまなざしには、このアフォーリズム的なものがベースにあったかもしれない。と、昨日こちらのエントリを読んで思いました。

Abe Kobo's Place (安部公房の広場): 「弱者への愛にはいつだって殺意がこめられている」か? https://abekobosplace.blogspot.com/2012/09/blog-post_6177.html?sref=tw

今月の鉛の卵

アサガイウツ口@localosc · Oct 22

安部公房の「鉛の卵」で食糧難に陥った人間が葉緑体を取り込む手術をして生き残った(正確にはこれだと語弊あるけどネタバレになるので自制)って描写があるけどまさか現実で似たようなことができるとは...

Quote Tweet

ニューズウィーク日本版@Newsweek_JAPAN · Oct 22

オタマジャクシの体内に藻類を送り込み、光合成によって酸素を供給できた—自然界では、藻類が光合成して、酸素や養分を海綿や珊瑚などに供給しているが.....

<https://newsweekjapan.jp/stories/world/2021/10/post-97314.php>

Miyabi Tanaka/田中雅@mi_searcher · Oct 20

【R62号の発明・鉛の卵 (新潮文庫)/安部 公房】を読んだ本に追加 → <https://bookmeter.com/books/557152> #bookmeter

今月のカンガルー・ノート

さき@pyonm4 · 22h

安部公房の『カンガルー・ノート』を読んでいるけど、脛から貝割れが生えたり、烏賊の内臓に追いかけて、尿管カテーテルのバックで闘ったりはちゃめちゃで笑っちゃうFace with tears of joy少年漫画感ある

山坂権@atk27kan · Oct 26

【カンガルー・ノート/安部 公房】トンボ眼鏡ちゃんだいすき。 → <https://bookmeter.com/reviews/102079158...> #bookmeter

今月の読書会

読書会「ネジの会」 @happy hill@nejinokai-Oct 24

というわけで、2ヶ月ぶりの読書会も非常に楽しかったです！ 次回の課題本は『けものたちは故郷をめざす』（安部公房）。安部公房は『砂の女』のイメージが強いですが、さてさてどんな読書会となるのでしょうか...？ 次回もどうぞよろしく～

Books

斎藤美衣@sun&beach@miemiesaito-Oct 24

今日は朝5時からオンライン読書会を開催しました。取り上げたのは安部公房の『他人の顔』。マスクで顔の半分を見せなくなった今日、改めて顔とは何かを考えさせられました。

今月の安部よりみ

干菜@BlueSky3n-Oct 22

安部ヨリミ「スフィンクスは笑う」読了。漱石の「こころ」や藤村の「新生」は、当事者の女性は添え物程度にしか書かれない。この小説では、女性の悩みが正面から書かれています。出だしの部分はやや読みにくい。ちなみに、安部公房の実母だそうです。今は、フォースター「果てしなき旅上」読書中。

今月のネズミの肉入りソーセージ

20世紀の文学bot@20C_Literature-Oct 22

不潔.....？ とんでもない。近代的設備のもとで、高温加圧の過程を経て製造された鼠肉ソーセージに、いかなるバクテリアが留りうるというのか。まさに蒙昧の言である。残るところは気分すぎぬ。だが気分.....気分とは一体何者であろう。無知からくる不安の一言につきるではないか。『壁』安部公房

今月の対談

kaze-bot@kazeto_bot-Oct 23

安部公房・渡辺格さんの対談番組。何がいいって、対話がうまくいってなくてもカットがない。それぞれ沈黙したり、考えこんだり、そういう空白の時間こそが思考を耕す。今は全部余白をカットして無理やり分かりやすいストーリーに。答えのないものは、そのままにしておいていい。

今月のうどん

サルモンキー@maakeetaa-Oct 21

Googleマップの衛星写真で一日中散歩する安部公房のうしろ姿を想像していたらうどんができた

今月の3点リーダー

もふ@kinnitsuyoi-Oct 24

安部公房読み終わったぞーパイセンありがとー

字をなぞってるだけで映像がちゃんと浮かんでくる文章は解りやすく読みやすい
自分でも選ぶ著者になりそう

でも三点リーダーがあまりにも多すぎんか???

今月の俳句

蟻馬次朗 #年内999句チャレンジ@jiro_ariuma-Oct 20

俳句愛を取り戻す99句チャレンジ

65 蓑虫がパニックになり鯉のぼり

66 蓑虫や安部公房があら気さく

67 蓑虫の集団自殺比喩的に

今月の藤野君

飯テロ小説bot@nuenonamae-Oct 27

親指ほどの太さもある、チョコレート・キャンディだった。つまり、容器にふさわしい内容だったわけである。藤野君は、赤い大きな舌を出して、そのチョコレートの棒をしゃぶりはじめる。ひと舐めごとに、息を入れ、ゆっくり時間をかけて、しゃぶりはじめる。

安部公房「藤野君のこと」

今月の生まれ年

y@bananauwo-Oct 20

波多野爽波に高柳重信に遠藤周作が1923年生まれ、吉行淳之介に安部公房が1924年生まれ、三島由紀夫が1925年生まれと来たときに、瀬戸内寂聴が1922年生まれで存命なの、すげーっ！となる。

今月の靴

しょうた@たまにバンドリ垢@shouta_bandori-Oct 22

安部公房の靴をずっと持ち歩き続けたい人生だった

今月のカンガルー・ノート

Jelly@jelly16g-Oct 20

『脛にかいわれ大根が生えてくるという奇病を患った男は、訪れた病院の医師によって自走ベッドに括り付けられ、療養のために硫黄温泉を目指す。男は自らのかわいわれ大根を齧りながら、自走ベッドとともに、地下坑道、賽の河原...と、夢とも現実ともつかない物語の連鎖を巡る』

カンガルーノート 安部公房

今月の堤清二

sansdieu@sansdieu01-Oct 25

『日本演劇思想史講義』を読んでいると、たいへん知識が増える。西武の堤清二が文化支援に乗り出したとき最初に支援した文化人が安部公房であり、彼のために堤が作ったのが西武劇場、のちのパルコ劇場だった、って、へえー、そうだったのか。

今月の倉橋由美子

通称 長谷川@mitsouko_1919-Oct 23

安部公房—倉橋由美子のラインであるよね。確実に存在しているよね？

今月のセックス

凡鶏(Bon-Kei)@achebe_ship6-Oct 21

- ・エッチした後、指の匂いを嗅いで抱いた女を思い返す『雪国』(川端康成)
- ・生前は息子の嫁に欲情し、死後も若い女の子に踏まれたいと願う『瘋癲老人日記』(谷崎潤一郎)
- ・閉鎖的な空間で同居する女の関節の汗の匂いに欲情して激しくセックスする『砂の女』(安部公房)

嗚呼素晴らしきかな日本文学

今月の砂漠

ゆうゆうゆう@arbiter_pete_-Oct 24

安部公房の世界観

『砂漠』

<https://www.youtube.com/watch?v=yKDzkaU7C0c&t=1s>

さ@3wind3-Oct 21

私はこのネタでDr.ハインリッヒを知り、好きになりました。

安部公房み

『砂漠』 <https://youtu.be/yKDzkaU7C0c>

@YouTubeより

今月の壁

斉藤紳士@読書アカウント@saitousinsihon-Oct 25

【芥川賞受賞作紹介1500人記念回「壁」安部公房①】

チャンネル登録者数1500人ありがとう企画です。

チャンネル登録お願いします！

<https://youtu.be/c0HjXjCsVkg>

@YouTube

今月の安部公房スタジオ

sansdieu@sansdieu01-Oct 25

そして、安部公房は自らの安部公房スタジオに俳優座から田中邦衛、井川比佐志、山口果林ら錚々たるメンバーを引き抜いた。これについてはこの前の田中邦衛特集のときに調べてすでに知っていた。安部公房原作の勅使河原宏監督の映画に田中も井川も出てくるからね。

今月の山口果林

@タリー・パトリシア・ユウコ PatriciaYukoTurri

@lwata_yuko-Oct 21

「安部公房とわたし」の真実 女優・山口果林に聞く大作家の実像 | 読書 - 東洋経済オンライン <https://toyokeizai.net/articles/-/18226...> #東洋経済オンライン

@Toyokeizai

より

(写真を)

今月のベケット

カラシニコフ(Books)@kalashnikovread-Oct 25

Replying to @u546_5

ベケットの『ゴドーを待ちながら』は、おそらく10回くらい読んでます。あと安部公房の『砂の女』と高橋源一郎氏の『さようなら、ギャングたち』は、4~5回は読んでますね。

今月の愛読者

Kurihara Yui@neroli0517-Oct 24

Replying to

@ishideyumi

安部公房は祖父に勧められ、小学生の頃から繰り返し読み返しています。言葉、本は、人を育てると思っています。フォロー有難うございます。

今月の不条理

馬の蘇我子@UmaNoSogako-Oct 21

Replying to

@dave_spector

まず、安部公房の不条理の世界を知らないでしょ！平成、令和組は...

もぐら文学賞第一回募集要領

もぐら通信の創刊号（2012年9月30日）から数えて来月が丁度10年目です。この10年の節目を記念して、誠に「時知らず者」の安部公房には申し訳ないが（『中埜肇宛書簡第4信』全集第1巻78ページ下段）、敢へて小説の募集をします。

1. 応募期間：2021年9月1日より2022年8月31日まで1年間。発信主義。着信主義ではない。8月31日付の発信は有効です。

2. 送付先メールアドレス：eiya.iwata@gmail.com

3. 対象ジャンル：小説

4. 小説の長短：

次の安部公房の短編の量の間のいずれかの量：

- (1) 『赤い繭』の量：最小2000文字（400字原稿用紙5枚）
- (2) 『魔法のチョーク』の量：最大6300文字（400字原稿用紙16枚）
- (*) コントは対象外とします。

5. 応募条件：

- (1) 安部公房の読者
- (2) 一人何篇でも応募可。応募のたびに名前を変へること可。
- (3) 年齢：不問
- (4) 性別：不問
- (5) 国籍：不問
- (6) 言語：不問。編集部で日本語に翻訳し、原文とともに掲示します。
- (7) 提出文書のフォーマット：pdf
- (8) かな・漢字：新旧字体不問

6. 応募名：

- (1) 本名を名乗ってはならない。
- (2) 安部公房作品の主人公または登場人物の名前を名乗ってはならない。
- (3) ネットのハンドル・ネームまたは独自に案出した応募名で可
- (4) 最も望ましい応募者は国家に登録されておられない者である

6。応募名：

- (1) 本名を名乗ってはならない。
- (2) 安部公房作品の主人公または登場人物の名前を名乗ってはならない。
- (3) ネットのハンドル・ネームまたは独自に案出した応募名で可
- (4) 最も望ましい応募者は国家に登録されてゐない者である

7。選考委員：

- (1) もぐら通信の全ての読者
- (2) 国内外の読者を問はない。

8。作品の公表：

- (1) 編集部には到着後都度読者に配信します
- (2) 月毎の配信の号に掲載して応募記録を残します

9。評価方法・評価基準：

- (1) 安部公房の同社としての選考委員の独自の判定基準に委ねる
- (2) 採点の範囲は、1点から10点まで
- (3) 最終的な判定は、もぐら通信編集部及び発行人が各作品に下す

10。評価・選考のためのネット選考会月次開催

応募のあつた月のみ開催します。これは都度案内します

11。賞金：10万円

- (1) 一等賞：受賞者一名
- (2) 最終受賞者の複数ある場合には均等に分割する

12。将来の展望：

- (1) ノーベル文学賞の日本円換算1億円以上にします
- (2) ゆくゆくは、詩部門・戯曲部門・写真部門・音楽部門を併設し、安部公房文学の性格に相応しいジャンル横断の総合的な文学賞にしたい

以上

巻頭詩
(31)

冬の噴水

ジョン・ホロウエイ
岩田英哉訳

【原文】

JOHN HOLLOWAY

WINTER FOUNTAIN

A bell, a ringing flower of glass,
Like a great grey convolvulus,
In one clear flourish gliding up,
Sings at the sky with open throat;
And from its cool pulsating cup
Topples against the breeze to float
In drifts of white and emerald
Down with a softened lark-like note
To the lake's dark and fish of gold.

The fountain's finger-light cascade,
Its dance of glass and sun, is made
Out of the gutter's troubled flood
Storming with hundred-handed rain,
A tumult of dead leaves and mud:
But like a plant it springs again,
And the same wind will give it wings.
The gardener by his fire shall strain
His ear for how that strange bird sings.



【和訳】

鐘、ガラスで出来た鳴り止まぬ花が、
大きい灰色の昼顔の花のやうに、
一つの澄んだ植物の成長と繁殖の中に、滑るやうに登つて行き、
空に達して、喉を開いて歌ひ、
さうして、その冷たい脈打つ杯から
海から吹き寄せる風に逆らつて落ちて来るのは、浮いて
白とエメラルドの色彩のたくさん漂ふ中で
落ちて、柔らかくなつて雲雀の囀りに似た鳴き声と一緒に
湖の黄昏と湖面に金色に煌めく魚たちへと落ちて行くからだ。

噴水の、自然に楽々と流れ落ちてゆく段々状の滝は、
ガラスと太陽の踊りなのであつて、
側溝から溢れ出した其の洪水から出来てゐて
百の手を持つ雨の大嵐が掻き混ぜる
これは枯葉と泥の喧騒だが、
しかし、一つの植物のやうに再び跳ねる、
そして、海から吹き寄せる同じ風がこれに二つの翼を与へる。
庭師は炉辺にゐて、その不思議な鳥がどんな風に歌つてゐるの
かを耳そば立てずにはみられない。

【解釈と鑑賞】

この詩は、題名の通りで、冬の、しかも噴水を歌つたものです。噴水が吹き上がる姿を一つの植物の成長に喩へてゐる。さうして、その成長する植物の周りに様々な形象が踊つてゐる。噴水が落下する時も同様です。



第一連の最初の一行が、この連の最後まで単一の動詞の主語になつてゐる。この動詞がsing（歌ふ）といふ動詞であつて、ここには詩作技術の粋が尽くされてゐます。その声調の流れを生かす訳を心がけました。

最後の語であるfish of goldがよくわからない。これは金色の魚か、黄金の魚といふ意味になりますが、湖面がキラキラして、その一つ一つの煌めきが一匹の魚だと詩人は言つてゐるのだと解しました。もしこの意味で形象をもつと具体的に目に見えるやうにしようとしたら、詩人はfishesと魚を複数形にした筈ですが、さうしなかつたといふことは、この湖面の煌めきを全体として提示したかつたといふことを意味してゐますので、このfishといふ名詞を、無冠詞でもありますから、一種の集合名詞のやうに用ひてゐることになります。訳は、それでは日本語の表現としては形象に乏（とぼ）しいので、敢へて複数形にしてあります。

私が此の詩を読み始めて最初に連想したのは、スイスのルツェルンの湖の中にある噴水です。ブリテン島にも同様の噴水が湖の中にあるものと見えます。ルツェルンの湖の中にある噴水は、これです。



Cascadeといふ段々畑式の滝を意味する言葉があるので、自然の中にある噴水かとも思ってみました。 「噴水の、自然に楽々と流れ落ちてゆく段々状の滝は、/ガラスと太陽の踊りなのであつて、」のあとに「側溝から溢れ出した其の洪水から出来てゐて/百の手を持つ雨の大嵐が掻き混ぜる枯葉と泥の喧騒だが、」とありますので、都会の中にある大きな公園の中の噴水かも知れません。また、確かに「そして、海から吹き寄せる同じ風がこれに二つの翼を与へる。/庭師は炉辺にゐて、その不思議な鳥がどんな風に歌つてゐるのかを耳そば立てずにはみられない。」といふ最後の二行を読むと、この公園なら公園は海のそばにあつて、庭師の小屋などがあるのかも知れません。



周辺飛行

(55)

4. 『安部公房スタジオ会員通信』 (11)

第11号

これが最後に発行された安部スタ通信の号ですが、未入手ですので、掲載できません。掲載の機会が整いましたならば、お知らせします。

これで1970年代の安部公房の言語藝術活動を、安部公房スタジオの活動として其の十年間を一通り最初から最後まで通覧しました。前期の5年間は「周辺飛行」論であり、後期の5年間は「安部公房スタジオ通信」論といふわけでした。後者については安部スタ通信の現物の複写の転載でお伝えしました。これで、簡略に活動の年譜を整理すれば、

1. 1942年～1951年：初期安部公房：18歳の論文『問題下降に依る肯定の批判』から27歳での芥川受賞作『S・カルマ氏の犯罪』まで：詩人・小説家・戯曲家、そしてTV/ラジオ・ドラマの脚本家としての安部公房

初期安部公房を論じた論考『安部公房の初期作品に頻出する「転身」といふ語について』（もぐら通信第56号から第59号）をご覧ください。

ダウンロードは：

第56号：<https://www.docdroid.net/SheWeQu/document>

第57号：<https://www.docdroid.net/Ep6tfMh/document>

第58号：<https://www.docdroid.net/sXNnTZh/document>

第59号：<https://www.docdroid.net/3LMqUO5/document>

2. 上記1以降の安部公房

(1) 1951年～1991年：『S・カルマ氏の犯罪』から『カンガルー・ノート』（67歳）：小説家・戯曲家としての安部公房。この期間に重複して、

(2) 1970年～1980年：安部公房スタジオの活動：戯曲家、演出家、総合舞台藝術家（特に後期5年間）としての安部公房

初期安部公房を含み、安部公房の存在論視点からの一生の藝術活動の4つの位相・phasesについて一覧表にした「安部公房の人生表」をご覧ください。ダウンロードは：<https://docdro.id/uul2UJm>

1970年代から没年の1993年までの安部公房の人生の里程標の全体は、1980年1月1日に『藝術新潮』に連載を開始して翌年12月号まで連載された『都市を盗る』と云ふ安部公房スタジオ活動終焉後の1980年初から箱根の山荘に籠る安部公房の作家活動の開始を告げる最初の作品を此処に付加し、加へて此れも『周辺飛行』論にて既述の通り、安部公房スタジオの活動の終了を告げるリルケの『涙の壺』を下敷きにしたエッセイ『氷の壺から水を飲む』もまた、同じ終了と開始の予告として入れれば、次のやうになります。『もぐら日記』も入れます。

1. 1957：猛獣の心に計算機の手を [評論集]
2. 1965：砂漠の思想 [評論集]

3. 1971：内なる辺境 [評論集]
1975：笑う月 [エッセイ]
4. 1978：都市への回路 [インタビュー]
5. 1980（1月～）：都市を盗る [フォト&エッセイ]
6. 1980（4月）：涙の壺から水を飲む [エッセイ]
7. 1985（5月）：もぐら日記 [エッセイ]
8. 1985（10月）：もぐら日記II [エッセイ]
9. 1989（1月）：もぐら日記III [エッセイ]
10. 1991：死に急ぐ鯨たち [評論集]

これらの間に『密会』（1977）『方舟さくら丸』（1984）が入り、最後の長編小説『カンガルー・ノート』が『死に急ぐ鯨たち』の後に、しかし同年に、置かれます。

上記の年譜を見ますと、『都市への回路』は、安部公房スタジオの後期5年の中に収まる1年間の連載インタビューです。

『周辺飛行』論が完結したので、これから先は上記4以降の「存在への回帰」の晩年の作品を読み解いて参りたい。

以上の全期間に関する全体の俯瞰が可能となる論考をもぐら通信に掲載して読者の理解に供するのに2012年9月の創刊から2021年10月までの10年間の時間を要したといふことになります。安部公房全集を読み解く10年間でした。

安部公房文学の解説にあたって、やはり決定的に重要であつたことは、

この全集が編年体で編まれたといふことです。年毎に複数の藝術範疇を輪切りにして断面の年輪を共時的に観ることのできることは、私たち読者にとってジャンル横断者（crosswalkerとでも云ふべきか）安部公房の世界の全体を俯瞰して理解するために誠にありがたいことでした。安部ねりさんは勿論のこと、全集の編集に携はつた新潮社の優れた歴代の編集者の方々、そして読者として編纂に尽力を惜しまなかつた方々に深く感謝申し上げます。

追伸： ところで、読者の積極的な御投稿をお待ちしてゐます。

『文章読本』論

(10)

井上ひさし

岩田英哉

待て次号

贗物の国アメリカ

(5)

何故アメリカは何でもかんでも大衆化し通俗化するのか

岩田英哉

掲題の問に答へたい。何故答ることができたかといへば、やはり此の一年を超えるか中華謹製武漢産ウイルスのお蔭で家に籠つて観るアメリカのSF映画やTVドラマの中に、アメリカ人のことである、言はずと知れたUFOものがあつて、その1940年代を舞台にした先の大戦後から始まる連続ものを見てみて（何しろアメリカに渡つたナチスのロケットの発明者フォン・ブラウンも登場する）、この人たちのUFOに対する関心は、私の今まで書いたアメリカ文化贗物論を下敷きに考へると次のやうに定義できることに気づいたからです。さうして、これはUFOに限らず更に、一般化して、これまでのアメリカ贗物文化論全ての主題の根底にある情熱であり、アメリカ人の動機だと知つたからです。

問：何故、アメリカ人はかくもUFOに惹きつけられるのか。

答：何故なら、それは、存在しないものの存在証明をしようとして、あらゆるものを存在するものとして現実化しようといふ情熱によるものだからである。これは、アメリカ人には気の毒ないひ方であるが、不毛の情熱かも知れない。この論理は、存在証明をすれば存在しないものが存在した・することになると云ふ理屈にもなり、ここにアメリカ人の大衆の存在意義があるのであつて、この大衆を納得させる技術が擬似科学としての彼らのいふプラグマティズムなのであり、アメリカ流の弁論術なのでありレトリック・修辞なのであり、この修辞は法律主義の国の中では法廷にまで及んでゐる。詭弁を弄してでも大衆を説得できて大衆が賛同すれば、それが正義であり公正であると云ふ論理です。これは『YouTube論』でsustainと云ふ動詞の解説として法廷用語として論じたところす [註1]。

[註1]

『ネット・モナド論(22)：YouTube論』(もぐら通信第146号)をご覧ください。以下に当該箇所を再掲します。少し長いので読むのが面倒であれば飛ばして結構です：：

今のYouTubeなる動画無料提供サービスの話者の日本語に関する欠点をいへば、次の二つがある。

「3. 隠喩（メタファ）としての失語症（即ち寿命の短い流行語と意味不明のカタカナ語の氾濫）

4. 持続性の欠落

上記4についていへば、近頃日本に流行るものの一つにsustainabilityといふ面妖な用語が、これも跳梁跋扈して如何にも何か権威があるやうに振る舞つてゐる。元へ、否、権威があるやうに見せかけて流行させてゐる勢力があるのである。私が此の中華謹製武漢産コロナ・ウイルスのせいでもなくも天からボタモチ生活に甘んじて観たアメリカの法廷ものの連続TVドラマをみて知つたことであるが、これは法廷用語を其の（形容詞から名詞化されてできた）意味のうちを含むもので、この用語の由来するsustainといふ動詞はアメリカの陪審制度を前提にした法廷では、裁判長・judge・判事の絶対支配する法廷といふ場所、従ひ判事は独りゐるだけでowner・所有者と呼ばれてゐるので法廷といふ場所の所有者なのであり、さてその上で、攻守ところを替へて被告と原告が言葉で弁論の戦ひを繰りひろげるわけですが、此処で問題なのは原告・被告いづれ側からの異議であれ、この判事といふ絶対支配者が意義を認められた場合にはsustainedと宣言されるといふことなのです。これは敵味方に関係がない言葉です。要するに裁判長といふか裁判長と呼び難いのは裁判官が一人だけだからでそれ故に映画の和訳文字は判事とはなつてゐるわけですが、この判事の意志と判断が敵味方に無関係に一方の又は他方の異議に対して「異議なし」と宣言すれば、それが認められることをsustainedといふのだといふことです。ここに、従ひ、sustainabilityを主張する輩には、絶対支配者の意志が働いてゐるわけで、これをグローバリズムだといへば其の通りなのであり、これをグローバリズムの戦略の一つの柱である法律主義を無批判に安易に一国が受け入れて法文の中にでも入れてしまつたら、この用語は国際的な組織と連動してゐるわけですから其の勢力の支配下に入つて我が国は奴隸になつてしまふといふことを、中華謹製武漢産ウイルスのお蔭をもつて、私は知るに至つたのであります。今いつものWebster Onlineにお伺ひをたてますと、次のご宣託のある通りです。破壊とか消尽といふ極端な破滅的な用語（赤字にしました）による定義をしてある此処を敵はグローバリズムの名目の元に人間の恐怖心を煽つて見えない戦争を仕掛けてきてゐるといふ論理上の理解になります。だから自然保護とか環境破壊とか動物愛護とかいふわけです。それはいいかへれば人間愛護なのであり、人間保護なのであり、さうであれば一層人間破壊なのです。

Essential Meaning of sustainable

1

: able to be used without being **completely used up or destroyed**

sustainable energy resources

a sustainable water supply

2

: involving methods that do **not completely use up or destroy natural resources**

sustainable agriculture/farming/techniques

3

: able to last or continue for a long time

sustainable development/growth

Full Definition of sustainable

1

: capable of being sustained

2

a

: of, relating to, or being a method of harvesting or using a resource so that the resource is not depleted or permanently damaged

sustainable techniques

sustainable agriculture

b

: of or relating to a lifestyle involving the use of sustainable methods

sustainable society

また、

First Known Use of sustainable

1924, in the meaning defined at sense 1

とありますから、これはやはり20世紀第一四半期の、これまた歴史的事件の起きた（ロシア革命は1914年、関東大震災は1923年、世界大恐慌は1929年）年で、欧米型の資本主義の欠陥のあらわになつた歳の前後です。この経済制度上の又経済学上の問題を、安部公房の云ふ弱者の救済といふ人間の問題とともに、二十一世紀に解決することが、私たちのなすべきことです。

さらに言葉の方面から指摘すべきは、上記引用の2bに赤字にした、

a lifestyle involving the use of sustainable methods

といふ定義のあることで、これが生活様式に結びついてゐるのが、欧米白人種・キリスト教徒・アングロ・サクソン族の世界だといふことであり、この彼我の違ひは言語を異にする以上当然文化の違ひですから、安易にライフ・スタイルなどといふカタカナ語を口にして無批判・無批評の生活を私たちがすると、またpolitical correctnessの良い餌食になるといふのはポリコレ・セクハラ・パワハラの類ひと同じことになります。要するに、私たちがカタカナ語を無批判に無理解にあつて使用するば、日本語の忘却又は破壊に結果して、私たちの文化が破壊されるといふことです。これは『文章読本論』で論証した通りであり、ここでも図らずも同じ結論を持ち出すことになりました。

ちなみに、法廷でsustainedに対する反対の言葉はoverruledで、これは聞いてみるとルールが優先するといふ意味ですから（アクセントはoverのoにではなくruledのuにある）、このルールとは法廷内に適用される規則であるか、法廷の上位規則が法律で定まつてゐる其の規則といふ意味です。この場合の意味は、「異議を認めない」といふ判事の宣託なのですが、単に言葉

葉の上で一方は異議を認め、他方で異議を認めないといふ理解では浅薄な理解で、中心にゐる法廷といふ場所の所有者であり且つ絶対支配者が判事・judgeであるといふことなのですから、異議を認めようと認めまいと原告と被告にとっては判事の御宣託が吉と出もすれば凶と出もするといふわけです。さうして最終的な有罪無罪の判断が、これも実に恐ろしいことに大衆の代表者である普通の庶民が陪審員に選ばれて其の結果に判事も従ふといふ此の制度のあり方です。陪審員は勿論、法律のことについては無知ですから、それを前提に最初法廷に呼ばれた陪審員の中から原告被告それぞれの弁護士が質問をして回答によつて自分の側に有利な陪審員を選び出すといふプロセスが法廷で、これは公に行われるといふ裁判の最初の段取りとなつてゐます。この制度は私たちには馴染みません。本題にもどります。」

これが、私の答であつて、この傍線部「存在しないものの存在証明」を、書いた後に眺めれば、なるほど、さうか、それでE.A.Poeは世界で初めての探偵小説を書いたのだなと納得が行き（殺人現場不在証明の小説）、何故ディズニーランドに自分たちの国のものとしてシンデレラと王子様の住むあの贗物のヨーロッパ中世の城を高く建てるのか、何故コカ・コーラをつくつたのか、と此処まで考へて来れば、これはアメリカに存在しないヨーロッパの中世の存在証明の努力なのであり、ハンバーガーもまた嘗てのイギリスの植民地であつたことを今度は逆に不在のもの・存在しないものとしてのアメリカ流サンドイッチなのであると云ふことになり、また旧約聖書の天地創造の7日間を娯楽としてまた遊戯としてgameとして再現したのがベース・ボール（野球）なのであり、もともとアメリカと云ふヨーロッパからみた新大陸になかつた通貨（currency）がドーナツとして再現されて万民平等の食べものとして人々の間に広く行き渡り、さうしてこれらに共通するアメリカ文化の性格を一言でいへば、アメリカ文化の特徴は一言でいふことができるのでした。それは、

「いつでも、どこでも、誰にでも」

と云ふことを現実にするやうに思考する文化だと云ふことでした。この思考形式（プラグマティズム・擬似科学）の元に、重複を厭はず挙げれば、次の文物がアメリカにはあるのでした（『安部公房のアメリカ論～贗物の国アメリカ～』もぐら通信第22号より引用）：

- (1) 都市（町）：ラスヴェガスに典型的なやうに人工の、従ひ贗の、そして実際贗物の建築物からなる（ディズニーランドに通じる）都市
- (2) ディズニーランド：デンマークのTivoliといふ（今でいふなら）テーマパークの贗物
- (3) コカコーラ：神聖な伝説と神話の世界（ヨーロッパのキリスト教中世）の森の中に滾々（こんこん）と永遠に湧き出る泉の水

- (4) カウボーイ：旧約聖書とヨーロッパの羊飼いの贖物
- (5) ジーンズ：羊飼いの贖物とアメリカン・ドリーム（一攫千金の夢）の体現
- (6) ハンバーガー：イギリスのサンドイッチ伯爵の考案した手軽な食べ物とハンバーグ・ステーキの贖物
- (7) ジャズ：黒人の音楽の贖物
- (8) インターネット：贖の現実
- (9) クレジット・カード
- (10) コンヴィエンス・ストア

即ち、以上のことから、

アメリカ文化の性格は「いつでも、どこでも、誰にでも」及び「存在しないものの存在証明」をしようとして、あらゆるものを存在するものとして現実化しようといふ情熱」とは、ふたつながら裏表の関係にある表裏一体の情熱にあると云ふことになります。さうして、世界中の国々に経済力と軍事力を手段として、この存在しないものの存在証明を強制する。その最たるものは、曰くアメリカ流の民主主義です。これに異論はないでせう。日本の国は、この不毛なる情熱の最大の被害者の一国で、その政治上の自国の文化と其の上に成り立つて来た伝統的な制度に加へられた被害の程度はイラクその他中近東のアラビア世界の文明の国々と何ら変はらない。ここで安部公房の辛辣な、しかし為にする言辭ではない発言を此処で引いて、以下に、みると、何故安部公房がアメリカの文化に終生興味を抱き続けたか、その理由がよく解るのです。安部公房の読者におかれては、以下の、読者にはお馴染みの人間廃棄物論の引用をアメリカ文化論だと思つて読んでみてください。

「——「都市——墓場のカーニバル、厚化粧した廃墟」という言葉が安部さんにあります。素材、あるいは対象の面から言いますと、安部さんは都市の裏側というか、廃物のようなものを被写体として比較的多く選ばれますね。

安部 確かにそうだね。人間の大多数が廃棄物のような人生を送っているせいだろうか。それとも廃棄物になるための人生かな。とにかく廃棄物に言いようのない身近なものを感じるんだ。人間である以上、まず廃棄物の尊厳を言うべきじゃないかという気さえする。

子供のときからあつた感覚のような気もするな。人間は廃棄物となつて、消えてゆく以外には存在を許されないという、ちょっと仏教的になるけど。とにかく廃棄物に対するシンパシイは強いんだ。だから、ものが人から見捨てられて存在する、つまり廃棄物として存在しているのに、それをまるで存在してないものの如く扱うのがひどく不愉快だね。で、その廃棄物というものにひどく惹かれてしまう。

それに、廃棄物が廃棄物でなくなるときというのがあってね。たとえば、ものすごく危機的状況。満洲で育ったこと、とくに終戦体験と関係があるかな。あれは廃棄物がなかった時代だったよ、いや全部が廃棄物的だったというべきかな。」（『都市への回路』全集第26巻、218ページ）（傍線は引用者）

上記引用の傍線箇所が、アメリカ人の大衆心理の根底にある論理と感情を説明してゐる。これは安部公房の人間廃棄物論ですが、これをアメリカの大衆一般の人間廃棄物論に変換すると次のやうになります。何しろ、その原因が宗教上の迫害であれ、飢餓であれ、アメリカ人はヨーロッパの文化を捨てた各国の民が移民して来たと云ふことを、この論理の変換をする際に、想ひ出して欲しい。各国の本国がその人々を捨てたら、それは棄民であるが、これは其の自他の論理、主体・客体の論理が歪んで反転した論理です。

アメリカ人はヨーロッパからかうみられることが不愉快である：
ヨーロッパを主体としてみれば「ヨーロッパの棄民として存在しているのに、それをまるで存在してないものの如く他国に扱はれるのがひどく不愉快である。」

アメリカ人はヨーロッパを含み外国諸国にかうみられることが愉快である：
主客を入れ替へると今度は逆に「ヨーロッパ各国を各人の自由意志によつて棄てた民として存在してゐるのに（棄国の民といはうか）、それがまるで存在してゐないものの如く全ての州邦がまとまりある一国として（合州国これ也・united states）他国に扱はれるのがひどく愉快である。」

上記二つの主客の互ひの論理を反転させて変形を加へた引用に引いた傍線は、安部公房の読者には此れもお馴染みのコーポ用語でいふ「公然の秘密」であることに気づかれるでせう。恰も存在してゐないかの如くに、自分がみる、他人・他国にみられると云ふ関係に言及すれば、これは此のままアメリカといふ国家一国に箱男の箱を被せて此の国家の性格を説明したに等しいことになります。

人種差別が恰も存在しないが如くに他国には主張し振る舞ひ、他国にアメリカ人流儀の民主主義を押し付け、他方、現実には激しい人種差別が国内には存在する。この「恰も何々の如くに存在する」物事、即ちアメリカ流の文化概念を今極左・共産主義勢力によつて現実には物理的暴力を振るはれて破壊されてゐるのが、アメリカの内戦であると云ふことになります。「恰も独立宣言の如くに存在する」物事または事物が破壊されてゐる。アメリカは「恰も独立宣言の如

くに存在する」物事または事物が破壊されてゐる。アメリカは「恰も独立宣言の如くに存在する」ことを、唯一絶対神を大統領以下信仰する宗教国家として政治をおこなつて来ましたから、この独立宣言を否定されたならば、アメリカは独立国家ではなくなり、星条旗の星の数だけある50の州邦・statesは皆分離独立することになつて、建国以前に戻ります。公然の秘密などといふ偽善はやめろと極左・共産主義勢力は、平凡な通常理解でならば、さう主張してゐるやうに一見見えるわけです。勿論、実態は異質で、要するに暴力革命によつてアメリカ一国の権力を掌握するのが、極左・共産主義・グローバリズム勢力の目的です。これとアメリカの大衆は文字通りに内国戦争してゐる。

さて、それでは我が国の現状や如何にと自国に目を向けると、アメリカ謹製独立宣言産ウイルスと何ら変はらない現行日本国憲法である。太古・古代以来の伝統に則れば、穢れである。日本の国が「恰も現行日本国憲法の如くに存在する」ことを強ひられてゐることは、まさしく言語も歴史の長さも伝統の深さも全く異なる日本の国内にある公然の秘密であり、現行日本国憲法は日本製ではないと云ふことなのであり、実は自衛隊は軍隊であり歴然とした軍事力であると云ふことなのであり、現行日本国憲法には国家安全保障の緊急事態対処の規定がないと云ふことなのであり云々と云ふ「恰も現行日本国憲法の如くに存在する」偽装国家が今の日本なのである。と云ふ現実認識になります。「公然の秘密」国家、誰でもそれを知つて知らない振りをしてゐる、政治家・官僚以下裸の王様ばかりの住んでゐる国家が日本であると云ふことです。公職選挙法を改正して、子供を国会議事堂に送り込んでしまつた方が、諸問題の解決は迅速に済むかも知れない。たとへば憲法改正とか、スパイ防止法とか。私ならば、子供たちの提案する総括的に関係した法案をみな「裸の王様」法案と呼ぶだらう。

話が、アメリカ贗物論ではなく、日本国家贗物論になつてしまつた。本題に戻ります。藪蛇でした。しかし、早く日本が藪蛇国家になつて、国民も政治家と一緒に憲法を笑ひ飛ばす国になつて欲しい。それに、さうして、全国民に笑はれる、愛すべき国家に変形して欲しい。安部公房ならば、そのやうな政治家と官僚を「存在の道化師」と呼ぶところでありませう（エッセイ『ミリタリィ・ルック』）。一日も早く聡明なる国民に公の場でも笑はれる政治家と官僚になつて、健全な国家を再興願ひたい。勿論国民の期待を裏切ることなく、嗤はれるのではなく笑はれる国家経営と運営のそれぞれ職業人に。いふまでもなく「箱の論理」（『人間そつくり』）は難しいのである。御研究願ひたい。ユーモア・humorと笑ひは、安部公房文学の本質の柱の一つです。

ここでついでに、知識の整理のために、安部公房文学の本質的四本柱を挙げておきます。

- (1) ユーモアと笑ひ
- (2) トポロジーと汎神論的存在論
- (3) 仮説設定の文学論と言語論（デジタル変換とアナログ変換または問題上昇と問題下降）
- (4) 「新象徴主義」哲学（初期安部公房以来の、全ての主人公が経験する自己喪失と無名性と存在と存在象徴の出現に関する形而上学）

さて、以上を要約すると、

アメリカ文化の性格は「いつでも、どこでも、誰にでも」及び「存在しないものの存在証明をしようとして、あらゆるものを存在するものとして現実化しようといふ情熱」とは、ふたつながら裏表の関係にあり、表裏一体としての情熱に存在する「公然の秘密」性にある

と云ふことになります。

先の戦争後の日本人である私たちは、この「公然の秘密」に殺（や）られたのである。要するに、偽善平氣の平左病である。否、偽善兵器の平左病と云ふべきか、私の筆は、めでたきかな、安部公房の読者であるながら、三島由紀夫の意志を継いで、歳と共に辛辣になりゆき、遂にここに至つたといふべきか、またはアメリカ人をして至らしめたといふべきか、このアメリカ人をして至らしめたアメリカ文化特性を、国際政治学の視点から観ると、私たちの歴史的に体験した事実として次のようなアメリカ国家特性の解説になるのです。以下引用する著者の前提は、「1890年代、フロンティアが消滅したとき」「アメリカ人の世界観は一度大きく揺らいだことがあった」その時「フロンティアの意義が明らかになり、アメリカ文明の存在意義が問われ」ることになつたといふことです。そして其の局面で、

「アメリカ人は、このときフロンティアをさらに広げて太平洋に出て行くべきか、真剣に悩んだ。」「われわれは西に膨張しなければ、この国は滅びる」という脅迫観念が働いていた。その結果、「世界への膨張こそがアメリカの使命である」という「明白な宿命」という観念が作り出された。セオドア・ルーズベルト大統領が、こうした選択を説くリーダーとして登場し、また、世界の海の支配を説くA・T・マハンが『シー・パワー論』（海上権力史論）のなかで、海軍力こそ世界大国の究極の手段だと論じたのも、ちょうどこのころのことだった。」「アメリカはそのための「特別の論理」をどうしても必要としていた。」

ルーズベルトの後にタフト、タフトの後に「1913年にウイルソンが大統領に就任するが、直後にメキシコの反乱という事態に遭遇し」、「結局ウイルソンはメキシコへの介入を「領土」や「市場」という言葉ではなく、「民主主義」という言葉のもとに行うしかないとした。初めに「介入する」という結論があつたのであり、その理念を民主主義に求めた。これがウイルソン外交のポイントなのである。」この「民主主義のための外交膨張」という方針は、現在もこの「アメリカ外交のあり方は本質的にはウイルソンの時代と変わりが無い。」（中西輝政著『なぜ国家は衰亡するのか』（PHP新書）

私のいふアメリカといふ国の文化特性は「いつでも、どこでも、誰にでも」及び「存在しないものの存在証明をしようとして、あらゆるものを存在するものとして現実化しようといふ情熱」とは、ふたつながら裏表の関係にあり、表裏一体としての情熱に存在する「公然の秘密」性にある

といふ理解は政治学の視点から観ても間違つてゐない。「存在しないものの存在証明をしようとする論理とは、要するに本末転倒の論理といふことです。その代表が、アメリカが世界に広めようとして来ていつも失敗に終はつた「民主主義」といふわけです。今や日本においても十分に失敗したことが明らかになつた此の2021年10月は秋晴れである。「戦後民主主義」なるイカサマは、「戦後民主教育」と共に、失敗したのだといふ自己認識から政治家も官僚も国民も国の内外に、特にアメリカに対して、宣言してから物事を始めては如何か。新年までまだ2ヶ月ある。そして、もう2ヶ月しかない今日である。我らもぐら族は地上の出来事には元々我関せず焉（えん）であるが、地上の災厄が地下のネグラに染み込んで来ない位の注意はしたいものです。

私はこれまでの米国と中国は合はせ鏡の関係だるといふ考へを提示してきましたが、この論考の文脈で再度この関係を一言で云へば、この二つの国は「存在しないものの存在証明をしようとする本末転倒の論理」を共有してゐるといふことになります。言語が異なりますから文化の領域では発言を控へるとして、政治と経済は間違ひなく此の論理で動いてゐる。即ち、金が儲かれば本を末に転倒させて何でもやるといふことです。しかし、この論理を国家の構成員たる個人・individuumの位相に転換してみれば、なんとまあ、「存在しないものの存在証明をしようとする本末転倒の論理」を一見みかけ上矛盾のないやうに話を仕立てる人間をば詐欺師といふのであり、それが職業的にといふ言葉は可笑しいが、専門にやつてゐれば益々本物の詐欺師なのであり、しかし同様に此の技術に長（た）けて職業としてゐるのは、言葉の上では、小説家といふのです。とすれば、その詐術に喜んで騙されたいと思つてゐる人間を読者と呼ぶのでありませう。さう、私たちのことです。

フロイトの精神分析の大衆化については、書きそびれたので、次の機会としたい。

ネット・モナド論

(22)

YouTube論

(version 2.0)

岩田英哉

YouTubeといふGoogle社によるネット利用者のための動画配信サービスについて思ふところがあるので一言申し述べたい。論をなしてみれば良いと思ふ。きっかけは、井尻千男著『消費文化の幻想』（PHP研究社）を読んで（この著作については別途論じたい）、これは物理層での二十世紀の大衆消費文化の話であるが、位相を変へて論理層においたら、其のままネット文化論になると気づいたからです。その鍵言葉（キーワード）が、副題となつてゐる「オーソドックスとは何か」であり、オーソドックスといふ言葉です。

二十世紀に大衆消費文化といふものがあるならば、さうしてこれは上記の題名の通りに幻想なわけであるが其れが何についての幻想かといふ話は後述するとして、二十一世紀にある幻想としての大衆消費文化とは、情報の消費であつて、それならば、今世にある文字と動画をメディア・媒体としての情報消費文化といふものを、ネット大衆と名付けることのできる不特定多数の問題として、ネット大衆・情報消費文化と此れを幻想の名の下に名付け、その代表としてYouTubeを取り上げて論ずることは、良いことではないかと思つたからです。なぜ文字ではないかといふと、安部公房と三島由紀夫の対談『二十世紀の文学』で対話された四つの主題〔註〕のうちの一つが文学と映像の問題であるからで、二十一世紀の文学を論ずるための礎石の一つにしようといふ少し先の目的がもくろみとしてあるからです。三島由紀夫の発言は、映画に代表される映像といふものが登場した時には、文学の味方だと時代に対して反時代的な精神から見て思へたものが、今や此の1960年代後半にはすっかり文学の敵になつてしまつてゐるといふ発言でした。私は二十一世紀にこの三島発言と同じ発言を、その延長に我が身を置いて文学の立場から反時代的な精神の眼には一体どのやうにネット情報消費・大衆社会が映るのかを映るままに写して論じたいと思ふ。

〔註〕

四つの主題とは、セックス・言葉・イメージ・行動の四つです。二人の対談『二十世紀の文学』（全集第20巻、55ページ）をお読み下さい。この四つの主題は1970年の没年まで三島由紀夫の文学の四つの柱となつてゐます。

文学が映像に、即ち此処でいふならYouTubeに期待したのは、反時代的な力の発揮であつて、文学と同様同調圧力に対する対抗勢力となつてくれる筈だといふ期待でありましたが、いかんせん期待は裏切られ、ネット上のGoogleといふ巨大企業無料提供サービスを個人が利用した動画もまた同調圧力の強化といふ結果にしかならなかつたといふのが、私の結論です。無料のサービスといふのは共産主義への入り口です。この提供者がネット企業であるだけに其の影響の範囲が地球的な規模なので勢ひグローバリズムとかネット・ヘゲモニーといふ同類異語で此の企業の手にした権力をさう呼ぶことができるといふわけです。

もうこの手のサービスを離れて私は一ヶ月になるので、この間に革命的な変化のネット上に発生してゐない限り、私の所論はネット大衆社会の分析と理解に役立つ筈です。

三島由紀夫の指摘は、セックスといふものがフロイトの通俗化によつて（これをしたのはいつもの通りにアメリカ人である。ハリウッド映画はその最たるものです）、映像もまた性愛を映像化するのに通俗化してしまつたといふ指摘であり、これを生かしてネットに応用すれば、性といふものを含んだ膨大な人間に関する項目一つ一つの通俗化であるといふことになります。

しかし他方、誠実な番組を運営してゐる運営者のゐることも私は知つてゐるので、おそらくこの人たちにとつてのネット動画とは、結局しかしかうしてみれば人を動員するための連絡手段として、人を行動させるための通信媒体として活用し得るといふ価値があるといふことになる。とすれば、通俗化した媒体とどこが違ふのかと問へば、やはり活用の目的意識が違ふといふことになります。要するに運営者の目的意識が通俗化・非通俗化、即ち同調圧力・非同調圧力の明暗を分けるといふことです。これを次のやうに対比的に整理をします。

通俗化・非通俗化：同調圧力・非同調圧力：大衆・非大衆

『ネット・モナド論』で示した用語を使へば、非大衆とは個衆（personals）のことですので、次のやうに此の対応関係を変形させることができます。

通俗化・非通俗化：同調圧力・非同調圧力：大衆・個衆

問題は、通俗化・同調圧力の増強・大衆訴求といふ選択肢の方が、俗にいふYouTube動画の提供者は金が儲かるといふ問題のあることなのです。元手はタダで、チャンネルの登録者数が10万人に達すると100万円の支払ひが毎月Google社から支払はれるといふことです。極端にいへば視聴者を煽動すればお

金が儲かるといふことです。これが一方の極。他方の極は、教育系のYouTubeで、日本語に限らぬ動画を色々見てみると、やはり人間の本質に関する情報を提供してくれるYouTubeは個別言語を問はずに、10万人の登録者数を超えてあるものが多々ありますので、これはこれでバランスがとれてあります。即ち、前者は多数、後者は少数といふ形で均衡を世界的にネット上で保つてゐる。これを仮にネット上での現実だと仮定することにしませう。さて、その上でのネット大衆・情報消費文化論です。

何故私がYouTuberの対価の額を知つてゐるかといふと、これも三島由紀夫のいふ四つの主題の一つであるセックスに関して、元風俗嬢のYouTubeが赤裸々な仕事体験を語るうちに3ヶ月で登録者視聴者数が10万人に達した時点で、その通りの、再生回数との関数である支払金額が前月は5000円程度の収入が翌月3ヶ月目には100万円を超えてゐるといふ、要するに動画についてクリックされた広告収益に対するGoogle AdSenseからの支払い受領画面の記録を動画で見せてくれてゐるので知つた次第で、そのリンクはここです。

8:40からです（全体は11:25）：『YouTube登録者数10万人の給料事情：<https://www.youtube.com/watch?v=FIXHVFSO8YY&t=370s>）この動画で公開した収益を以下に示します。AdSenseからの支払いは8000円以上の金額に対して支払はれるので、5月に一挙に140万円の対価を得たといふことになります。

合計	
3月	¥277
4月	¥5,247
5月	¥1,369,837

ここで、私の示したい対比用語が芭蕉のいふ不易と流行といふ言葉です。

流行を生むと個人でこれだけの月収になる。他方、不易を求めて不易を生むとどうなるか。私が小林秀雄の『政治と文学』といふ批評を読んで理解したことは、小林秀雄の文章の行間を読めば、

政治は量であり、文学は質である

といつてゐることである。即ち、

YouTuberが登録者数を増やし再生回数を上げることに傾注すれば、これは当然に量の問題となりますから、このYouTuberが政治的意図を持たうが持つまいがいずれにせよ、ある種の扇情を意図して動画を制作し配信すれば、それは自づと政治的にネット大衆に働きかける動画になるといふことです。他方、質に重点をあてた動画を配信すれば、それはネット大衆に働きかける動画にはならないといふことです。後者の動画の質とは当然に話者の日本語の質といふこととなります。話者の日本語の質とは、別途『文章読本論』（もぐら通信第137号から第147号）にて論じて明らかになつた結論を此処で応用すれば、日本語の質とは次の二つによつて決定されます。

- 1。言葉の選別と選択の的確性の有無
- 2。様式・style・文体の有無

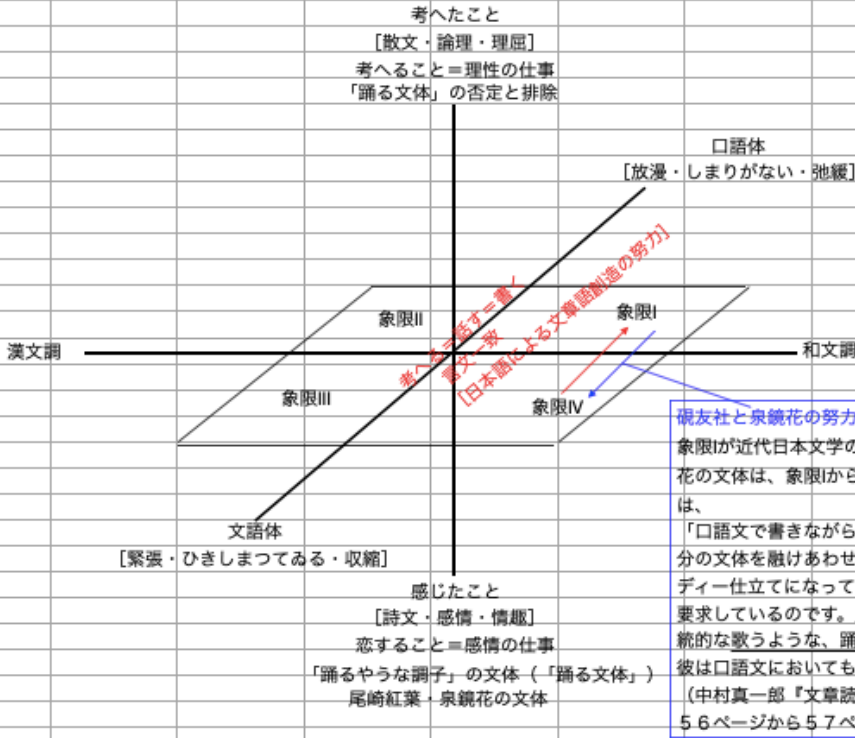
上記2に日本語の一流の作家たちが如何に心血を注いで日本語の様式・文体・スタイルを養つて来たか、培（つちか）つて来たかは『文章読本論』をお読み下さい。上記に引用した小林秀雄に学んだところを変形すれば、この1と2についていへば次のやうになります。

文学は質であるとは言葉の表現に様式のあることであり、他方政治は量であるとは、この言葉の質を保証する様式・文体・スタイルの上に政治の言葉が惹きつけ得る大衆の人数の問題である。後者にこれが可能であれば、政治の質は向上する。このやうに文学の観点からは、政治のこと即ち祭りごとについていふことができるでせう。

そして、YouTubeの動画での話者の問題はここにあるのです。此処で『文章読本論』で得た座標を示しますので御覧下さい。これで現下のネット映像の問題の全体が、歴史的な視点から、日本語の様式・文体・スタイルとの関係で、明らかになります。

2021/10/04
eiya iwata

中村真一郎の口語文体論をZ軸に入れた
日本語文体論の座標
【日本語による文章語創造の努力】



要するに、YouTuberの日本語は、口語体*感じたこと* [詩文・感情・情趣] * 「踊るような調子」の文体になつてしまひがちであり、従ひ口語体の悪癖といふべき [放漫・しまりが無い・弛緩] に陥ることになるといふこと、これが今の動画の現実だといふことです。私が早や一月の離間策を講じたのは、この強い傾向に飽き飽きしたからです。何故なら、日本語の言葉に [散文・論理・理屈] の欠落したものが余りに多いからです。まともな様式・文体を備へた動画といへば、今私が参考にしてゐるのは英語圏のものとドイツ語圏のものにほぼなつてしまつた。勿論口語体でも一向に差し支へがないのであり、要するに問題は整然と書くやうに口語体で話をする話者が、日本語のネット動画の世界には非常に少ないといふことです。勿論例外はゐるので、私はそのやうな話者の話は貴重ですから、何しろ結論があり主張がありますから曖昧ではないので、傾聴するやうにしてゐます。

さて、この座標を持ち出して、私のいひたいことは、いよいよ、様式・スタイル、さう文章ならば文体と呼ばれてゐるstyle・スタイル・様式のことなのです。ネット大衆の世界には、二十世紀の物理層の大衆と同様に次のものが欠落してゐるか、または正反対に過剰である。

1. 話者の意識は今だけ（流行を追ふだけ）
2. 死者の不在（流行を追ふだけ）

上記1と2の結果としてある、次の3と4は、

3. 隠喩（メタファ）としての失語症（即ち寿命の短い流行語と意味不明のカタカナ語の氾濫）
4. 持続性の欠落

上記4についていへば、近頃日本に流行るものの一つにsustainabilityといふ面妖な用語が、これも跳梁跋扈して如何にも何か権威があるやうに振る舞つてゐる。元へ、否、権威があるやうに見せかけて流行させてゐる勢力がゐるのである。私が此の中華謹製武漢産コロナ・ウイルスのせいでめでたくも天からボタモチ生活に甘んじて観たアメリカの法廷ものの連続TVドラマをみて知つたことであるが、これは法廷用語を其の（形容詞から名詞化されてできた）意味のうちに含むもので、この用語の由来するsustainといふ動詞はアメリカの陪審制度を前提にした法廷では、裁判長・judge・判事の絶対支配する法廷といふ場所、従ひ判事は独りゐるだけでowner・所有者と呼ばれてゐるので法廷といふ場所の所有者なのであり、さてその上で、攻守ところを替へて被告と原告が言葉で弁論の戦ひを繰りひろげるわけですが、此処で問題なのは原告・被告いずれ側からの異議であれ、この判事といふ絶対支配者が意義を認めた場合にはsustainedと宣言されるといふことなのです。これは敵味方に関係がない言葉です。要するに裁判長といふか裁判長と呼び難いのは裁判官が一人だけだからでそれ故に映画の和訳文字は判事とはなつてゐるわけですが、この判事の意志と判断が敵味方に無関係に一方の又は他方の異議に対して「異議なし」と宣言すれば、それが認められることをsustainedといふのだといふことです。ここに、従ひ、sustainabilityを主張する輩には、絶対支配者の意志が働いてゐるわけで、これをグローバリズムだといへば其の通りなのであり、これをグローバリズムの戦略の一つの柱である法律主義を無批判に安易に一国が受け入れて法文の中にでも入れてしまつたら、この用語は国際的な組織と連動してゐるわけですから其の勢力の支配下に入つて我が国は奴隷になつてしまふといふことを、中華謹製武漢産ウイルスのお蔭をもつて、私は知るに至つたのであります。今いつものWebster Onlineにお伺ひをたてますと、次のご宣託のある通りです。破壊とか消尽といふ極端な破滅的な用語（赤字にしました）による定義をしてある此処を敵はグローバリズムの名目の元に人間の恐怖心を煽つて見えない戦争を仕掛けてきてゐるといふ論理上の理解になります。だから自然保護とか環境破壊とか動物愛護とかいふわけです。それはいひかへれば人間愛護なのであり、人間保護なのであり、さうであれば一層人間破壊なのです。

Essential Meaning of sustainable

1

: able to be used without being **completely used up or destroyed**

sustainable energy resources

a sustainable water supply

2

: involving methods that do **not completely use up or destroy natural resources**

sustainable agriculture/farming/techniques

3

: able to last or continue for a long time

sustainable development/growth

Full Definition of sustainable

1

: capable of being sustained

2

a

: of, relating to, or being a method of harvesting or using a resource **so that the resource is not depleted or permanently damaged**

sustainable techniques

sustainable agriculture

b

: of or relating to **a lifestyle involving the use of sustainable methods**

sustainable society

また、

First Known Use of sustainable

1924, in the meaning defined at sense 1

とありますから、これはやはり20世紀第一四半期の、これまた歴史的事件の起きた（ロシア革命は1914年、関東大震災は1923年、世界大恐慌は1929年）年で、欧米型の資本主義の欠陥のあらわになつた歳の前後です。この経済制度上の又経済学上の問題を、安部公房の云ふ弱者の救済といふ人間の問題とともに、二十一世紀に解決することが、私たちのなすべきことです。

さらに言葉の方面から指摘すべきは、上記引用の2bに赤字にした、

a **lifestyle** involving the use of sustainable methods

といふ定義のあることで、これが生活様式に結びついてゐるのが、欧米白人種・キリスト教徒・アングロ・サクソン族の世界だといふことであり、この彼我の違ひは言語を異にする以上当然文化の違ひですから、安易にライフ・スタイルなどといふカタカナ語を口にして無批判・無批評の生活を私たちがすると、またpolitical correctnessの良い餌食になるといふのはポリコレ・セクハラ・パワハラの類ひと同じことになります。要するに、私たちがカタカナ語を無批判に無理解にあつて使用すれば、日本語の忘却又は破壊に結果して、私たちの文化が破壊されるといふことです。これは『文章読本論』で論証した通りであり、ここでも図らずも同じ結論を持ち出すことになりました。

ちなみに、法廷でsustainedに対する反対の言葉はoverruledで、これは聞いてみるとルールが優先するといふ意味ですから（アクセントはoverのoにではなくruledのuにある）、このルールとは法廷内に適用される規則であるか、法廷の上位規則が法律で定まつてゐる其の規則といふ意味です。この場合の意味は、「異議を認めない」といふ判事の宣託なのですが、単に言葉の上で一方は異議を認め、他方で異議を認めないといふ理解では浅薄な理解で、中心にゐる法廷といふ場所の所有者であり且つ絶対支配者が判事・judgeであるといふことなのですから、異議を認めようと認めまいと原告と被告にとつては判事の御宣託が吉と出もすれば凶と出もするといふわけです。さうして最終的な有罪無罪の判断が、これも実に恐ろしいことに大衆の代表者である普通の庶民が陪審員に選ばれて其の結果に判事も従ふといふ此の制度のあり方です。陪審員は勿論、法律のことについては無知ですから、それを前提に最初法廷に呼ばれた陪審員の中から原告被告それぞれの弁護士が質問をして回答によつて自分の側に有利な陪審員を選び出すといふプロセスが法廷で、これは公に行われるといふ裁判の最初の段取りとなつてゐます。この制度は私たちには馴染みません。本題にもどります。

4. 持続性の欠落

私のいひたかつたことは、日本流の持続性の欠落であつて、欧米流の持続性の欠落ではない。後者の欠落は前者にとつては良いことである場合があり、前者の持続性が後者にとつては悪いことである場合があるといふことは、もうすでに私たちはグローバリズムの名のもとで、代々の総理大臣の組閣した政権の悪業として身に染みてよく知つてゐる。

さて、消費は大衆であれ小衆であれ、人の生活に欠かせないのでありますから、様式・スタイルとの関係で消費を考へれば、ネット大衆と情報消費の交差点に言葉が生まれる筈ですし、実際さうであるといふのが現実です。他方、動画を配信してゐて話者が話をしないといふ話者はゐないわけですから、配信者からいつても、この理解は正しいことです。この言葉が様式・スタイルを欠いてゐるところに問題があるといふのが、私の意見です。それには様式・スタイルのある物理層での生活が必要で、これを欠いてゐる人間がネット上で扇動的な動画を配信すると、それは政治的な動画としての効果をもたらすといふことに私は注意を向けてほしいといつてゐるのです。さうであれば、

- 1。話者の意識は今だけ（流行を追ふだけ）
- 2。死者の不在（流行を追ふだけ）

といふ此の二つを變形させれば、

- 1。過去と未来を意識せよ（不易を生み出せ）
- 2。死者が隣にゐると思つて話せ（不易を生み出せ）

といふ此の二つを私はYouTuberの心ある話者に是非一考をお願いしたい。これが私たちのsustainabilityである。しかし不易に当たる英語は此の語ではない。だからカタカナ語に騙されるなといふのです。あるひは、私たちの持続性に関する判決を下すjudge・判事は、大企業ではないし、大企業の感化された私たちの知らぬグローバリストの勢力ではない。日本語に正直に生きる限り、私たちは私たちの身の安全を自ら保証し保障することができる。

この私たちもいふ不易の意義の持続性を物理層では、かのチェスタートンは「死者の民主主義」といつて、正統は此処にあるといふ、私は誠に民族も人種も宗教も言語も超えた、正しい主張であると断言したい。井尻さんといふ方の本の副題が「オーソリティとは何か」となつてゐる所以です。安部公房の読者ならば、正統と異端の問題は、都市と人間の問題とともに、普遍的な問題です。さうであるならば、あなたには即ち、

あなたがライフ・スタイルといふ言葉を口にしたひ時には、其の前によく考へて、この言葉の意味と使ふ文脈・場面・局面をよく吟味して使つてほしい。これは、ネット情報・大衆消費社会を生き抜くための智慧だと私は信ずるが、あなたにおかれては如何か。三島由紀夫ならば『文化防衛論』と呼んだことですが、今生きてゐたら題名を変へて『文化ネット防衛論』としたか『ネット文化防衛論』としたことせう。



日本一極国家論
(前篇)

岩田英哉

この題名の正式な名前は「日本一文明一国家一極論」といふのです。簡略して「日本一極国家論」としました。その心は、日本といふ国は一国家であり且つ一文明であり且つ従ひ世界の政治・経済・文化に於いては一極であるといふ心です。何故こんなものが生まれたかといひますと、先日これもまた私には珍しいことに孔子の言行録である論語を読んだからなのです。開巻第一行に子曰く、学びて時に之を習ふ、また説（よろこ）ばしからずや。といふ温故知新といふことで、後掲する著作二篇を元に日本の近現代史を、言語の観点から、温故知新してみたのです。それに一庶民・一国民として今の政治と経済（といふことは結局政治の問題といふことですが）共に惨憺たる現状の原因に遡るとどうなるか、解決策があるかといふことを後掲する二著作を読みながら考へた結論を掲題の論としてまとめた次第です。大体、何でもとも文弱の徒がこんな天下国家を論じなければいけないのであるか。いい加減にしてもらひたい。やはり相当に今の日本の国は狂つてゐるといふことではないでせうか。思へば、安部公房が『死に急ぐ鯨たち』といふ評論とインタビュー集を刊行したのが1986年で、当時は日本経済は「幻想の未来」を生きるバブル経済の真つ盛りの時でした。この「幻想の未来」の実現した現在は此の令和3年の今であります。さすが安部公房である。この「幻想の未来」といふ過去の現在に（超越論）、あんたたちは「死に急ぐ鯨たち」ぢやあないのか？と辛辣な疑問を呈した安部公房の洞察と明察は当たつてゐたのです。この安部公房の洞察と明察の力を借りて、私たちが「死に急ぐ鯨たち」には。せめて安部公房の世界の住人であるあなたも私もならないために、この一文を起こしました。吾れかく思ふ、故に吾れかくの如くにあり。

『縄文紀元論』を書いてみて、この論考の下敷きにしただけの明確な根拠となる資料があるのであれば（古事記と大祓詞）、この日本国家一極論は十分に成り立ちます。なぜなら、17世紀以降を欧州の近代と呼ぶことにしますと、何故なら此の世紀に今の欧米の政治と経済の土台ができたからですが（キリスト教は墮落を極めて役に立たず庶民にとつてはないものどころか侮蔑の対象でしたが、これが今に至るまで尾をひいてゐて混乱の原因となつてゐる）、この近代の欧州の考へ方の動きの移り変はり（ソフトウエア開発用語を転用して以後「状態遷移」または単に「遷移」と呼ぶことにします。あるいは「時代遷移」

でも良い) は、中世キリスト教世界を否定して無いものとして考へ、古代世界への、敢へて云ひますが偽の、歴史の捏造による回帰であるからです。何故なら近代ヨーロッパの国家は古代ギリシャと何の関係もないからです。これが近代欧米の共産主義の最初の原因であるといふことは諸処既述の通りですので繰り返しません、要するに歴史の連続性を欧米・白人種・アングロサクソン・キリスト教徒〔註1〕は否定し断絶して、これ以前のキリスト教の時代と世界を「暗黒」時代と呼び、17世紀の混乱の時代の次の18世紀を自ら Enlightenmentの時代・光輝かせる光の時代と逆に呼んで（日本語の和訳でいふ）「啓蒙主義」の時代と呼んだわけです。この「近代」と彼らが呼ぶ400年を、政治・経済・文化視点からみて世界的な影響力を行使して来たといふこと、これが世界的な、「近代」史です。しかし、この近代はあくまでも中世のキリスト教時代から連続的に生まれたのです。

〔註1〕

欧米・白人種・キリスト教徒を英語にし、これを略称して、必要な場合には、次のやうに呼ぶことにします。

Europa-America=White people=Anglo-saxon=Christian→EAWAC・イーワック

要するに、今彼らEAWACの歴史意識は歴史の断絶を前提にしてゐるので、彼らのいふ近代史とは共産主義の歴史です。これを時代を色分けして帝国主義と呼ぼうが、その根底にあるイデオロギーを植民地主義と呼ぼうが、何と呼ぼうが同じで、要するに共産主義です。これを今また別に時代の色分けをして、特にこの30年間平成から令和の初の今に至るまでをグローバリズムといふ国際金融資本の優勢の時代の色を、さう呼んでゐるだけです。これを和訳すれば、地球上諸国一体化主義といふことになります（これは空間意識）。かくして、欧米人がプラネット（惑星実は地球のこと）といひ、グローブ（地球のこと）といふ此の二語の背景にある歴史意識は共産主義の意識であり、そのまま従ひ政治意識の現れです。ですから、この意識は歴史断絶々対肯定意識ですので（これは時間意識、否、時間分断意識）、私たちの歴史意識にはそぐはない、どころか、これを全面的に否定するものです。従ひ、

グローバリズムとは、固有空間・一元化主義であり、固有時間・分断主義であることが解ります。要するに共産主義であり、全体主義であり、絶対主義即ち時間と空間は絶対的なものと定義したカント哲学の世界です。これが間違いであり、時間も空間も差異である以上は認識の対象であつて、無媒介の直観によるものではないことは「超越論II（第七回）」（『Mole Hole Letter（64）』もぐら通信第141号）その他の論考にて証明して来た通りです。勿

論、このカントの哲学の外部にはキリスト教のあることを忘れてはなりません。だからカントは『純粹理性批判』が書けた。そして唯一絶対神の外部には自然がある。哲学はキリスト教から生まれ、哲学から科学が生まれた。世界中の自称科学者がなしてゐることは、唯一絶対神の存在証明を物質を自然だと思つて、否、私たちからみれば自然の反面・片葉である物質をのみ探究しめるのです。これが17世紀以来の科学の歴史です。固有な時間、即ち国家と民族ならばこれらの固有の歴史を分断しようとしてみながら、自己矛盾、自己撞着のいひ方になりますが、（継続性と連続性を前提にしてゐる概念である筈の）

「歴史」です。だから、彼らの歴史です。EAWACの歴史である。日本人の歴史ではない。それは、歴史の断絶を前提にしてゐる其れ自体自己矛盾を内包した彼らの歴史意識です。正確には、ですから、歴史否定の歴史意識です。これを彼らEAWACは世界中にグローバリズムの名の下に及ぼさうとしてゐる。我ら有色人種にとっては誠に良い迷惑である。これを、私たち日本人は肝に銘じておかねばならない。その上での、日本一極国家論です。

話を捏造の歴史である西洋近代史のうちで、自分たちの地域を統治して来たキリスト教の中世を断絶したことから発生した此の地域の今や持つ偽善性に加へて、もう一つある偽善性の話をしてから本題に入りたい。『安部公房とチョムスキー』論で話をしたことです。もう一つの偽善性とは、ヨーロッパ地域の彼らがルネサンスと呼ぶ時代以降、14世紀以降17世紀まで、また17世紀を超えて21世紀の今に至るまでの彼らの云ふ「近代」の偽善は、12世紀13世紀に実は、イスラム教徒のイスラム文明から古代ギリシャの古典をアラビア語で学び、これをラテン語に翻訳して哲学・科学その他の諸学問の基礎としたといふこと、これを隠蔽し続けて今日に至つてゐるといふことです。もし、EAWACのキリスト教徒がイスラム諸国に対して、これに対する感謝の意を申述べてみたならば、今のやうなイスラム原理主義も生まれず、テロリズムなど生まれなかつたであります。日本人は支那の文明に対しては、一貫して敬意を歴史的に払つて来ました。だからといつて戦争が起きないかといふとこれはまた別の政治の話、国家の利害の、別の話です。文化の話に留まりませう。欧米諸国のイスラム文明に対してしてきたことは逆のことで、恩を仇で返すことでしたから、今の欧米の人種問題・移民問題の原因は、これです。更に、大陸の人間たちの奴隷制肯定の強い意識または無意識のあり方も相俟つて、問題の所在は非常に根深いものがあります。戦争に負けた国の人間はみな奴隷にするといふ大陸の考へに基づいて、欧米EAWACの経済的発展が一国を富裕にして植民地主義を推し進めましたから、そこに道徳は失はれてみました。植民地の人間は、姿は人であるが人間ではなかつた。いふまでもありませんが、20世紀後半に現れた南米やアフリカ大陸の文学も結局目立つたものはなく、マルケスのやうな例外を除いて文学作品と呼ぶに値しないのは、結局植民地主義を前提に小説を書いてゐるからだと安部公房が辛辣に断言したことを私たちは忘れ

てはならないと思ひます。この前提を崩し、また否定した上で、私たちは21世紀の文学を産み出さなければなりません。その根拠となる文明及び文化論は、安部公房の言語論および小説観を大切にしながら、その文学観に沿つて超越論即ち汎神論的存在論の縦糸を縫つて書いた『縄文紀元論』を中心にして諸処既論の通りです。

このEAWAC欧米諸国の苛酷な植民地主義に反対する戦争大東亜戦争と名付け、私たちは第二次世界大戦の中のアジア地域戦争である此の戦争を遂行するための一番大きな動機を、当時の知識人ですからドイツ語でモラーリッシュ・エネルギーと呼びました。英語でモラル・エナジー、日本人は道義力と呼んでみました。道徳の持つ力です。これが一つの大東亜戦争といふ、世界史視点でのアジア地域戦争の目的、人間の道徳の恢復、道義の尊重といふことです。欧米の近代といふ時代、モダン・タイムスには、チャップリンが同名の有名な映画で見せてくれたやうに、道徳が欠落してゐると私たちは考へてみた。これが一つ。この道徳の欠落は資本主義も共産主義も同じ穴の貉（むじな）でした。

もう一つの此の世界史的な地域戦争の目的は、欧米白人種キリスト教徒からのアジアの植民地となつたアジア諸国の解放でした。これは日本の敗戦にも拘らず、目的を遂げることができました。日本の戦争が終はつても、東南アジアの幾つかの今主要な国になつてゐる国々に日本の軍人が帰国せずに其のまま現地に留まつて白人種の宗主国に抗して現地の人々と一緒に武器を持つて戦ひ独立に導いたことは、大東亜戦争の動機と目的が嘘ではなかつたといふこと虚構ではなかつたことを歴史的事実として示してゐます。ヴェトナム戦争を勝利した北ヴェトナムの指導者層には、日本帝国陸軍に軍事教練を受けて教育された人士がゐましたから、日本から対米関係をみれば、東京の仇をハノイで打つたといふことになります。以上が、近現代史の今の日本に至るまでの要約です。

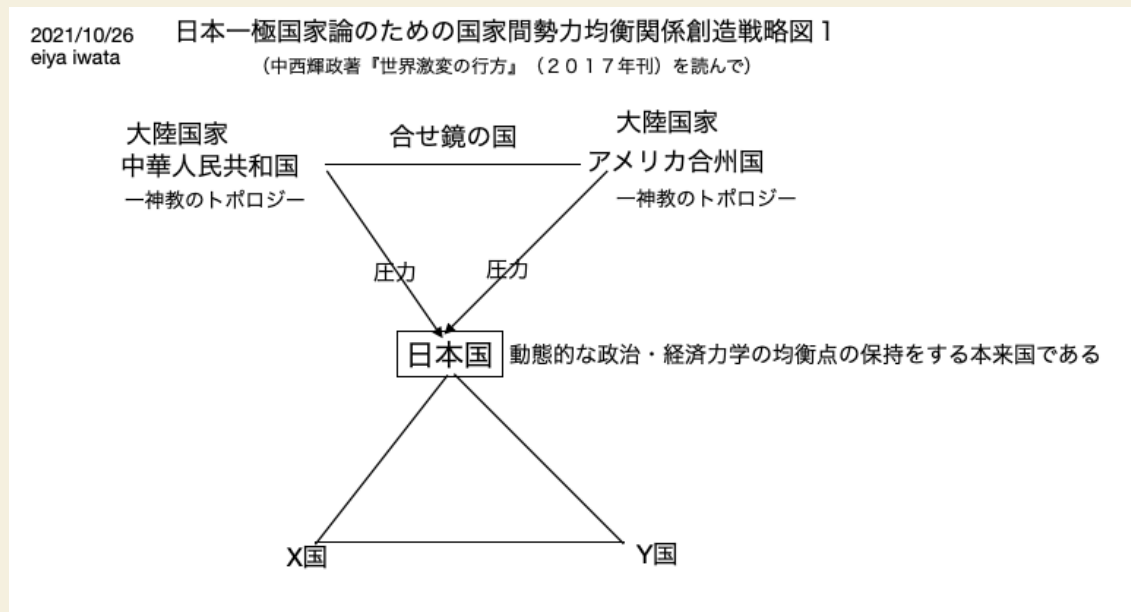
次に本論に入るまでに、一体アメリカといふ国家が日本に対して何をどうして来たかといふ歴史的事実をまとめて述べて御理解を頂いてから、その後これを共通の知識の土台として、本論に入りたい。この場合、参考にした書籍は次の二つです。著者に感謝申し上げます。私の独創があるとしたら、これも例によつて例の如く、言語の観点からまとめたといふことあるのみ。

- (1) 中西輝政著『なぜ国家は衰亡するのか』（1998年刊）
- (2) 中西輝政著『日本人として知っておきたい「世界激変」の行方』（2017年刊）

例によつて、まづ図解を掲げてから、そのあとに内容を箇条書きにしてお伝へします。この図解の名前は「日本一極国家論のための国家間勢力均衡関係創造図」

(全体図) といふものです。全体図のダウンロードは：<https://docdro.id/6HQ3lir>

以下上記の全体図を分解して部分図を一つ一つ示しながら、あなたの理解を得たいと思ふ。これは私の理解した順序ではなく、理解した上で人に伝えるための順序です。かういふ風に話せば、過去と今とこれからの日本の世界史の中の立つべき位置と姿が明らかになる筈です。即ち、歴史の中で、さう『ネット・モナド論』の用語でいへばPJ (Personal Journalist) としてあなたは世界を論ずることができる。あるいは単なる個人 (Personal) としてでも人の頭を借りずに独立した人間として世界情勢を理解して論ずることができる。



この図 1 の意味を以下に説明します。

(1) 日本はこの上下 (左右でも良いが) の二つの三角形の均衡点を動的に保持しなければならない。ここに日本の世界史的立場・positionがある。

(2) 後掲する「21世紀の世界激変予測のための分類」で詳細に説明しますが、結論を云へば、アメリカの歴史的な対日本戦略と対日政策は、中国とアメリカが組んで日本を包囲するといふ戦略であり、この戦略に基づく国家政策であり、この政策に基づく個別の政治的作戦であり政治工作であつた。

(3) その歴史を次の二段階の枠組みによつて示します。これで現下の世界的混乱が日本を中心に少し整理されて、頭の中がすっきりとします。これは上記 (1) に云ふ「21世紀の世界激変予測のための分類」からの引用です。ダウンロードは：<https://docdro.id/5gcZWDB>

(4) アメリカの対日戦略の二段階の枠組み

歴史的な時系列の分類では二段階ですが、歴史が過去となつた今振り返ると、結果として、二階層の枠組みの二階層目に今の日本が置かれてゐる（受け身・passive状態）にあることが判ります。それぞれを前者は文字で、後者は年譜と図で示します。

A. 文字で示す：

- ①第一段階：1921年のワシントン会議での「第一次米中对日包囲網」の形成
- ②第二段階：1971年のキッシンジャー訪中による「第二次米中对日包囲網の形成」

B1. 年譜で示す：

これを時系列の年譜にしましたので、「21世紀の世界激変予測のための分類」の、最初に部分図を掲げます。これでも相当今の時代の此の現在の日本国内の政治・経済・学術の世界の専門家たちの混乱の背景がよく理解できるのではないかと思います。あなたの持つてゐる個人的な知識と経験から行間をお読み下さい。

	1921	ワシントン会議/第一次「米中の対日包囲網」形成
	1971	ニクソン・ショック、キッシンジャー訪中/（第二次「米中の対日包囲網」形成
	1979	イラン/ホメニ革命、ソ連/アフガン侵攻、ローマ法王/ヨハネ・パウロ2世就任（ポーランド人：共産圏）、中国/鄧小平の経済改革開始、米国/レーガン大統領就任
	1980	イギリス/サッチャー就任
	1985	ジョージ・ソロス中国で投資開始（第一回目）
	1989	東西冷戦/ベルリンの壁崩壊、中国/天安門事件、ジョージ・ソロス中国で投資終了（第一回目）
アメリカの衰退 中国の成長	1991	湾岸戦争、ソ連崩壊（冷戦の終焉）、日ソ共同声明（ゴルバチョフ来日）/（北方領土問題の方針合意）
	1992	日本/天皇訪中【日本の犯した最大の政治的失敗】
	1993	ロシア/エリツィン大統領来日/「東京宣言」（北方領土問題の方針合意）、欧州/EC→EU/マーストリヒト条約の発効
	2001	アメリカ/9.11
	2000	
	2003	アメリカ/イラク戦争
	2013	ジョージ・ソロス中国で投資開始（第二回目）、就任（習近平ーオバマーフランシスコ法王（極左・共産主義者））
	2015	ギリシャ/「反EU・反緊縮財政」政権成立
	2016	アメリカ/トランプ大統領就任、イギリス/Brexit、習近平ートランプーフランシスコ
	2018	日本/平成の天皇の御譲位
	2021	ジョージ・ソロス中国で投資終了（第二回目）、習近平ーバイデンーフランシスコ、キッシンジャー訪中/（第二次「米中の対日包囲網」形成以来の包囲網の暫定的終了

B2. 図で示す：

これを空間的な階層図に転換すれば、現在の日本の置かれた位置は次のようになります。



2021/10/27
eiya iwata

日中による対日包囲網戦略階層図

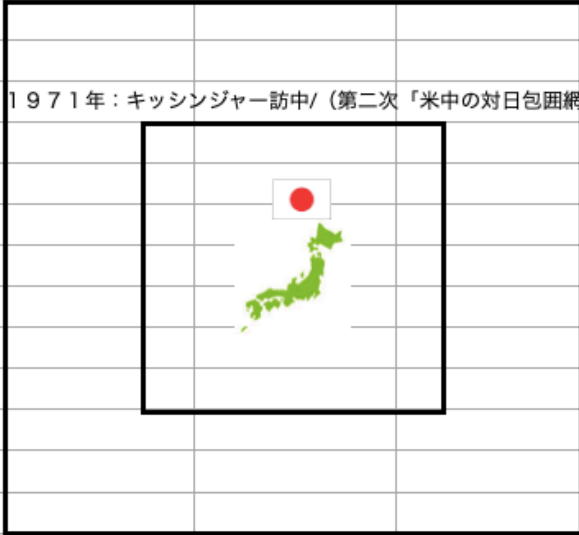
1921年：ワシントン会議/第一次「米中の対日包囲網」形成

→ 1945年：第一次「米中の対日包囲網」の終了/日本の敗戦

1971年：キッシンジャー訪中/（第二次「米中の対日包囲網」形成

→ 2021年：第二次「米中の対日包囲網」の包囲網の暫定的終了

ジョージ・ソロス中国で投資終了（第二回目）、
世界的個人軸：習近平ーバイデンーフランシスコ、



これに、今中米で工作してある筈の「第三次米中対日包囲網」を重ねると次のやうになります

2021/10/27
eiya iwata

日中による対日包囲網戦略階層図

日本の国家戦略はA・B・Cの枠を破壊することまたは取り除くことまたは無効化することによつて枠組みXを創造することである。これが日本の自立であり独立であり日本一極となることである。

① 1921年：ワシントン会議/第一次「米中の対日包囲網」形成 → 1945年：第一次「米中の対日包囲網」の終了/日本の敗戦

② 1971年：キッシンジャー訪中/（第二次「米中の対日包囲網」形成 → 2021年：第二次「米中の対日包囲網」の包囲網の暫定的終了

ジョージ・ソロス中国で投資終了（第二回目）、
世界的個人軸：習近平ーバイデンーフランシスコ、

A

B

C

③ 2021年：習近平訪日・アメリカによる〇〇作戦・〇〇工作/（第三次「米中の対日包囲網」形成

この桎梏の枠組みを政治・経済・文化の視点から考察し議論すること

反中を主張するならば、反米を主張しなければならない。何故ならば、この矛盾に盲目では「日米中」の三角形（「日本一極国家論のための国家間勢力均衡関係創造戦略図1」の均衡点にある日本を想像できず、従ひ国家戦略の立案ができないからである。

枠組みX

日中の歴史的な戦略としては首尾一貫してゐる

この図の意味するところを以下に箇条書きにします。

(1) 日本の国家戦略はA・B・Cの枠を破壊することまたは取り除くことまたは無効化することによつて枠組みXを創造することである。これが日本の自立であり独立であり、日本一極となることである。

(2) ①1921年：ワシントン会議/第一次「米中の対日包囲網」形成は、1945年：第一次「米中の対日包囲網」の終了/日本の敗戦で一旦終了した。

(3) ②1971年：キッシンジャー訪中/ (第二次「米中の対日包囲網」形成は、2021年のジョージ・ソロスの中国での投資終了によつて暫定的に第二回目の終了を迎へた。この場合の現下の世界的個人軸は、政治と宗教の交差点にある因子を中国・米国・キリスト教を軸に並べれば、習近平ーバイデンーフランシスコ となる。このジョージ・ソロスといふ名の知れた投資家の近時米国の大手新聞に寄稿文に関する私の分析メモを基に、この暫定的な此の枠組み終了といふ判断をしました。ご興味があれば『ジョージ・ソロスの三つの論文を読む』のメモのダウンロードは：<https://docdro.id/dtZDnKp>

(4) 上記(1) および(2) といふ枠組み、日本にとっては手枷足枷といふべきであるが、この日中の歴史的な戦略としては首尾一貫してゐる。この二大勢力の隠れた連携に対抗するためには、日本も同じ首尾一貫した戦略を持たねばならない。

(5) 政治・経済・文化の領域を横断して、心ある人は一致協力して此の桎梏の手枷足枷首枷の枠組みの解体と脱出の方法論を複眼的な観点から、個別領域の問題統合を政治・経済・文化の視点から考察し議論することをしなければならぬ。歴史は文化の中に入ります。

(6) 反中を主張するならば、反米を主張しなければならない。何故ならば、この矛盾に盲目では「日米中」の三角形(上記「日本一極国家論のための国家間勢力均衡関係創造戦略図1」)の均衡点にある日本を想像できず、従ひ国家戦略の立案ができないからである。

(7) 上掲図の第三次対日包囲網のあることを予測した上で、この三階層の枠組みを脱して、一番外部に破線で描いた枠組みをみづからの手で描くことが、日本の国家戦略となる。その方法論は、上記(5)による以外には戦略の立案のしやうがない。これには国家意志の発動が必至である。



大東亜戦争開始直後に「近代の超克」を巡って、日本の東西で会議が開かれたが、如何せん、今読むと誠に可笑しなことごとくに、政治と経済の専門家、または実際の政治家と実業家が一人も参加してゐないことである。対して、この二つの会議の特に最初の会議である「近代の超克」会議は河上徹太郎によつて主宰され、この優れた批評家は、その会議の主題の範をフランスの此れも優れた詩人であるポール・ヴァレリイの主宰した汎ヨーロッパ会議である「現代人の建設」会議に求めて開催した筈であるのに、このヨーロッパの会議についての言及が「近代の超克結語」に最初数行書かれてゐるだけで、分析のないことはおかしいことで、片手落ちだと私には見える。〔註2〕この三つの東京・京都・ニースの会議については別に論ずる。

〔註2〕

「近代の超克」会議「現代人の建設」会議とは、私のつけた呼びやすい通称であつて、書名と会議名は次の通り：

- (1) 『近代の超克』（富山房百科文庫）：知的協力会議：雑誌『文学界』掲載：昭和17年十月号発行：開催地東京
- (2) 『世界史的立場と日本』（中央公論社）：－：「座談会」：昭和十八年三月十五日初版：開催地京都
- (3) 『現代人の建設』（創元社）：知的協力国際協会：「談話会」：開催は1935年4月1日開催：開催地フランスのニース：和訳は昭和十二年六月二十八日発行

(8) 米中二国は、合わせ鏡のお互ひに似姿の鏡像国家であつた、一言でいへば、どちらも近代ヨーロッパの生み出した鬼子である。アメリカといふ英国植民地独立国家がヨーロッパの西欧の鬼子であるならば、同じ論理によつて今の中華人民共和国といふ共産主義国家もまた大英帝国の生み出した近代西欧の産んだ鬼子である。歴史的にみて、イギリスがアメリカの宗主国であるならば、そして阿片戦争で清帝国を滅ぼしたイギリスが、この三角形のどこかに影のやうにやはり依然として大英帝国として隠然たる現実的な勢力としてみると考へる方が遺漏がないであらう。

(9) もし三角形の関係図の、日本の下にあるX国Y国のいずれかがイギリスであるならば、上記(8)を念頭に置いて忘れないことが肝要と存ずる。

(10) このX国Y国の候補は下記(11)に掲げる文明と国家の特性に応じて選び出すと次の通りとなる。

- ①イギリス（大英帝国）：海洋国家・「堆積性」国家
- ②ロシア：大陸国家・「堆積性」国家
- ③オーストラリア：海洋国家且つ大陸国家・「更地性」国家
- ④インド：大陸国家且つ海洋国家・「堆積性」国家



(11) 堆積性および更地性の定義は次の通り。

中西輝政著『なぜ国家は衰亡するのか』より以下の定義を得たものである(同書144ページ「アメリカと中国の共通性」から154ページ「フロンティアの意義」)。

①堆積性の定義

堆積性とは、伝統と宗教と文化と歴史の継続性及び継承性に関し、その国と民族の形・様式を大切にすることによつて国家の正統性を保障する文明の本来有する意志の性格であり、その意志によつて生まれる文明の性質である。

[補足説明]

例を挙げると、日本、イギリス、イスラム諸国、その他。「日本列島位相史」(『縄文紀元論』参照)は如実にこの日本文明の「堆積性」といふ文明特性を示してゐる。堆積性とは、やまとことばで云ふならば「降り積もる」といふこと、フル・降・古といふこと、音が変化しますが「経る」といふことです。この「降り積もる」ことを習合と呼んで、非常に高度なトポロジー(数学)で、やまとことばで云ふお祓ひで執行し、生活の中の尊い一部となしてきた。これが和歌とともにある、私たちの大切な歴史です。

②更地性の定義

更地性とは、伝統と宗教と文化と歴史の継続性及び継承性に関し、正統性の継続と継承を常に否定し破壊をして、王朝の交代または新しい政権の交代の度に、それ以前の国家の正統性を全面的に否定し破壊することで国を建てる文明の性質である。

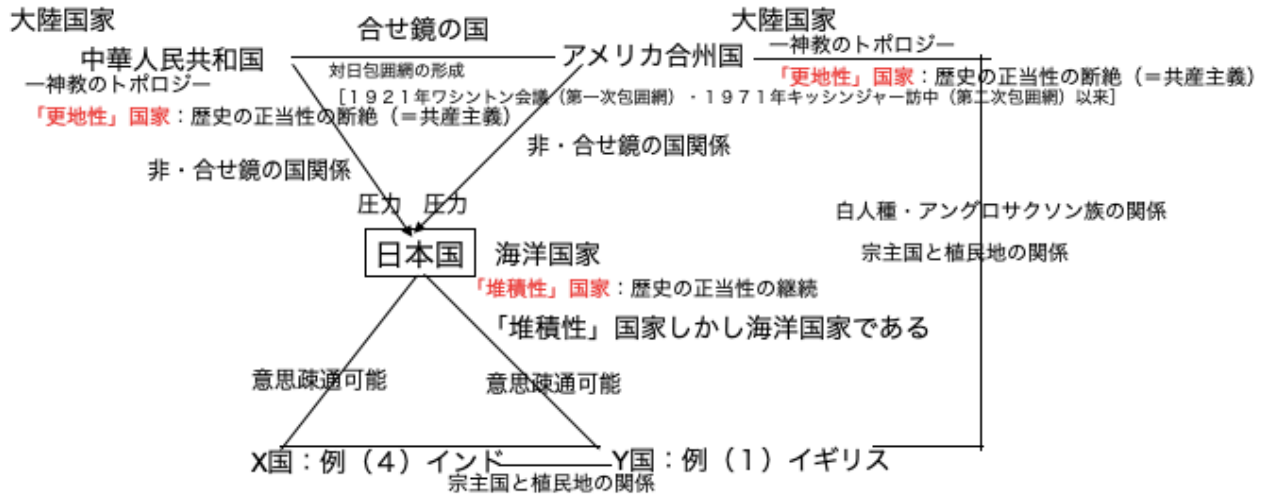
[補足説明]

これは政体の名称がなんであらうとも、イデオロギーの如何を問はず、建国の目的の如何を問はず、その建国の由緒と正統性継承を断絶するといふ論理によつて皆共産主義国家である。例へば、中国、アメリカ、その他の共産主義または共産主義的国家群。

(12) 地政学および海政学並びに歴史継続性の観点から日本[海洋国家・「堆積性」国家]と国家意志疎通の可能な国は(1)イギリス[海洋国家・「堆積性」国家]と(4)インド大陸国家且つ海洋国家・「堆積性」国家である。これは論理であるので、果たしてこれが現実に政治的実用に耐え得るか否かは吟味を要する。従ひ、

(13) 次の「日本一極論部分図2」を掲げる。





- X国及びY国の候補：(1) イギリス (大英帝国)：海洋国家・「堆積性」国家
(2) ロシア：大陸国家・「堆積性」国家
(3) オーストラリア：海洋国家且つ大陸国家・「更地性」国家
(4) インド：大陸国家且つ海洋国家・「堆積性」国家

地政学および歴史連続性の観点から日本 [海洋国家・「堆積性」国家] と国家意志疎通の可能な国は (1) イギリス [海洋国家・「堆積性」国家] と (4) インド大陸国家且つ海洋国家・「堆積性」国家である

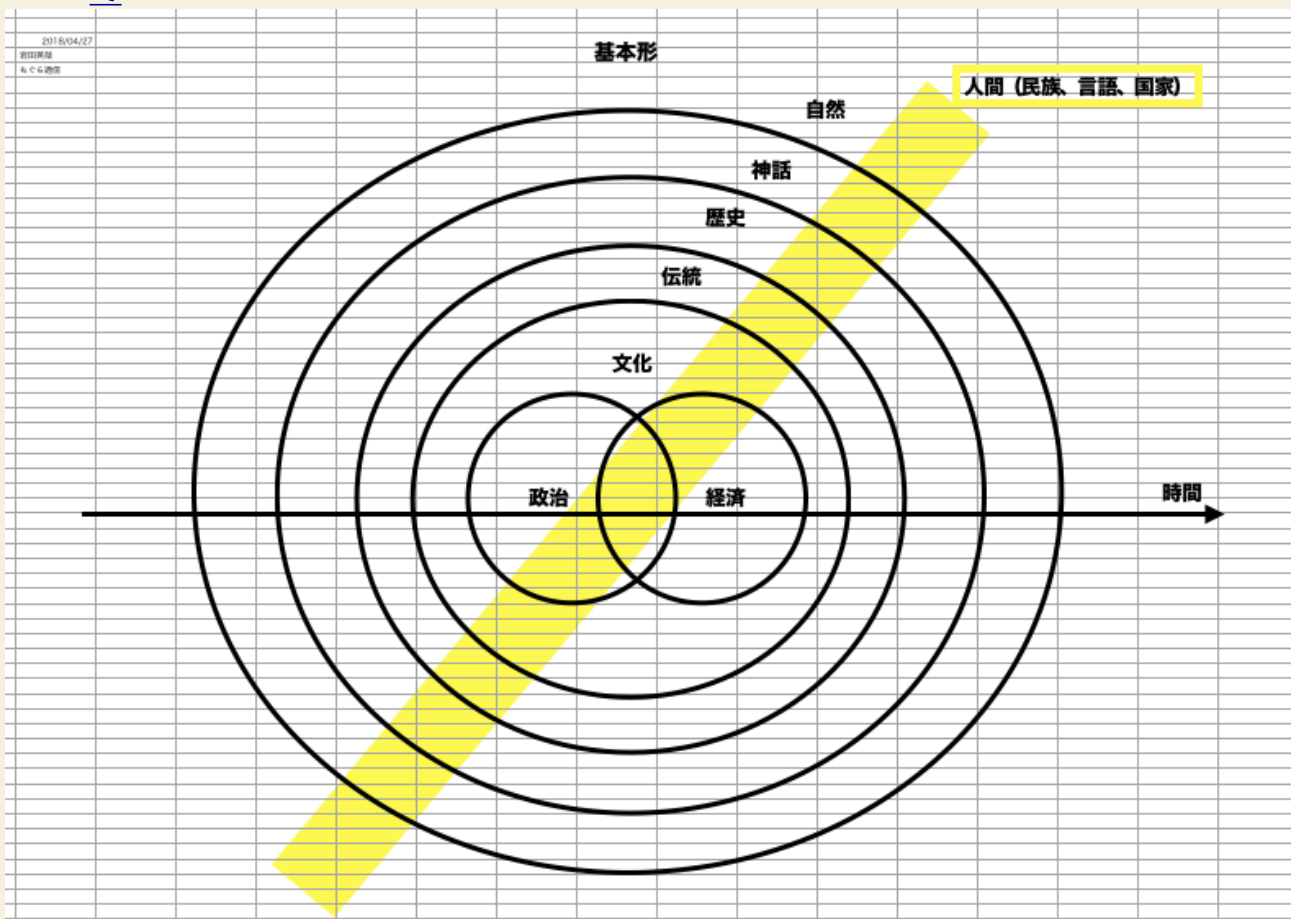
(14) これで、「21世紀の世界激変予測のための分類」の全体を理解することができると思ふので、部分図を含めた全体図を掲げます。「21世紀の世界激変予測のための分類」(全体)のダウンロードは再度：<https://docdro.id/5gcZWDB>

2021/10/26 eiya iwata		中西輝政著『世界激変の行方』(2017年刊)を読んで国際政治を下記の通りにまとめた							
		21世紀の世界激変予測のための分類							
1 歴史	日 米 英 西欧 東欧 露 中						行1 (歴史) から行7 (宗教) を構成する理解単位		
2 政治	国家単位、政治関係 (濃密、疎薄) ((日、中)、(米、中)、(中、独)、(中、英)、(中、露))							国家単位である	
3 軍事	(国家単位、同盟関係)							国家単位である	
4 経済・金融	(国家単位・GDP、東京、(ロンドン・City、NYC・ウォール街))							都市単位である	
5 諜報・intelligence	監視網 (物理層、論理層)、(国家単位、同盟関係単位)							国家単位である	
6 種族 (人種・語族)	(白色人種 (西欧、北アメリカ)、スラブ (東欧・ロシア)、アジア、アフリカ、アメリカ (中、南))					EAWAC (欧米・白人種・キリスト教徒・アングロサクソン)		人種・民族単位である	
6 哲学・形而上学	(スコラ哲学、欧州近代哲学、縄文哲学、ウパにシャド哲学、X)							宗教単位である	
7 宗教	(一神教 (キリスト教、イスラム教)、自然教 (神道、バラモン教、x))								
	1921	ワシントン会議/第一次「米中の対日包囲網」形成							
	1971	ニクソン・ショック、キッシンジャー訪中/第二次「米中の対日包囲網」形成							
	1979	イラン/ホメニ革命、ソ連/アフガン侵攻、ローマ法王/ヨハネ・パウロ2世就任 (ポーランド人：共産圏)、中国/鄧小平の経済改革開始、米国/レーガン大統領就任							
	1980	イギリス/サッチャー就任							
	1985	ジョージ・ソロス中国で投資開始 (第一回目)							鍵言葉は国家再生力
	1989	東西冷戦/ベルリンの壁崩壊、中国/天安門事件、ジョージ・ソロス中国で投資終了 (第一回目)							日本：自立>独立： 日本一極論 (一文明、一国)： 日本 (一極、文明、国家)
	1991	湾岸戦争、ソ連崩壊 (冷戦の終焉)、日ソ共同声明 (ゴルバチョフ来日) / (北方領土問題の方針合意)							
	1992	日本/天皇訪中 [日本の犯した最大の政治的失敗]							
	1993	ロシア/エリツィン大統領来日/「東京宣言」(北方領土問題の方針合意)、欧州/EC→EU/マーストリヒト条約の発効							
	2001	アメリカ/9.11							
	2000								
	2003	アメリカ/イラク戦争							
	2013	ジョージ・ソロス中国で投資開始 (第二回目)、就任 (習近平-オバマ-フランシスコ法王 (極左・共産主義者))							
	2015	ギリシャ/「反EU・反緊縮財政」政権成立							
	2016	アメリカ/トランプ大統領就任、イギリス/Brexit、習近平-トランプ-フランシスコ							
	2018	日本/平成の天皇の御譲位							
	2021	ジョージ・ソロス中国で投資終了 (第二回目)、習近平-バイデン-フランシスコ、キッシンジャー訪中/第二次「米中の対日包囲網」形成以来の包囲網の暫定的終了							

(15) 上記(14)の図表中、一番上にある行番号1から7までを以下に引用して説明を続けます。これが私たち個人が熟慮の対象とすべき項目の一次分類です。

1	歴史
2	政治
3	軍事
4	経済・金融
5	諜報・intelligence
6	種族(人種・語族)
6	哲学・形而上学
7	宗教

(16) 上掲行番号の分類と同じものを幾重にも重なった同心円の円盤として描いて示したことがあるので、これを以下に引用します(『安部公房とチョムスキー(11)』(もぐら通信第92号))。これは近代欧米の政治学と経済学といふ学問に何が欠落してゐるかを示すために描いたものです。この「政治と経済の内部から外部の自然まで」のダウンロードは：<https://www.scribd.com/document/392167695/政治と経済の内部から外部の自然まで>



この円盤図の意味するところは次の通りです。

①政治と経済の土台は文化、即ち言語であること（言語とは円の中心に文字で明示してゐないが）。私の文化の定義を再掲します。

文化の定義

文化とは言葉を正しく使ふことである。

振る舞ひと思考は言葉に従ひ応ずる。

②従ひ、言語と言語に培はれた文化を破壊されると、その上の政治も経済も、またこれ以下これ以降の伝統・歴史・神話・自然へも破壊が連鎖的に遡及すること。そして、極左・共産主義による破壊の現実は、アメリカを太平洋を挟んで望見すれば実際にさうなつてゐるといふこと。

③上記（15）の行番号の分類と此の円盤図を比較すると判ることは、政治といふ概念の下位分類は次の通りであること。

政治：国民の生命・財産・安全を守る政治家の使命の構成要素

- (1) 軍事
- (2) 経済・金融
- (3) 諜報・intelligence

そして、政治の上位にあつて私たちの生活と命の基礎として位置するものが、

- (1) 宗教
- (2) 哲学・形而上学（この思弁の領域は上図の横断的な黄色の帯である）
- (3) 歴史

この三つであること判る。この三つを語る能力のない政治家および上記政治の内訳である3つの要素について語ることのできない政治家は無能の政治家と呼ばれるべきなのであり、従ひ、選挙のある度に、無能の政治家は落選させねばならないといふ、以上のことは皆私たち選挙民の指針です。これを語る能力がないならば、学歴は無用であり、自分の言葉を持ち、情熱を以て自分の政治理念を語る政治家を選ぶことこそが肝要といふ平凡な結論になります。

次に上掲の二つの上下の（左右でも良いが）三角形を更に一つにまとめて、高天原のトポロジーに則つて平行四辺形の擗掛けにするとどうなるかを考察します。これを国体の問題と一緒に併せて論じたい。

（続く）

『都市の回路』論

(1)

岩田英哉

『周辺飛行』論の次に『都市の回路』と云ふインタビューを収めた一冊を論じたい。その理由は、『周辺飛行』論の対象となつてゐる安部公房スタジオの（準備期間も含めた）活動期間、即ち1970年から1980年の10年間のうちの後期5年間に重なる期間に於ける安部公房の発言が『都市の回路』に収められてゐるからです〔註1〕。安部公房スタジオの後期5年間の舞台とは、この作家が本来心の奥底に初期安部公房以来秘めてゐた舞台の実現であることは、その公演の題目を並べてみれば自づと明らかです。これは初期安部公房の、さう、処女作『終りし道の標べに』に書かれた安部公房の「新象徴主義」〔註2〕の哲学用語を使へば「存在象徴と云ふレンズ」〔註3〕を当時の時代の現実が通過して写像された、即ち「時間を空間化した」〔註4〕舞台であるといふことです。安部公房スタジオの舞台が初期安部公房以来の、存在を巡る此の作家の人生の旅のPHASE IIIであり、即ち存在への回帰を表す総合的な藝術としての舞台であるといふことです。

〔註1〕

新潮文庫版『内なる辺境 都市への回路』の解説者二人のうちの一人である篠田一士によれば、「本誌『海』の前編集長、塙嘉彦氏が聞き手になつて、安部公房文学、とりわけ、ここ十年ほどの文学活動の内実にさまざまな局面から照明をあてたもので、最初の「都市への回路」と題する部分は、すでに本誌の1978年4月号に発表されている。」

といふことは、「都市への回路」は、1968年から1978年までの安部公房の文学活動をまとめたインタビューであるといふことになります。

〔註2〕

安部公房独自の当時流行つた実存主義に対する批判の根拠とした、新象徴主義といふ哲学については、次の言葉がある。

『中壘肇宛書簡 第1信』（全集第1巻、68ページ）に次のやうにある：

「僕は、今受動的自己証認に於ける、而してそれにより開示される所の人間の（主観的一観念以前）特殊性について、又その立場より考査される所の新価値論とも云ふべきものの体系、若しくは方法に思考を集中して居ます。そして晩秋、濡れた地面に降る雪の様に、後から後からと消えて行く思想を、愁しい気持で眺めやつて居ます。」

また、『中壘肇宛書簡第10信』全集第1巻、270ページ上段には次のやうにある：



「僕が最初に実存哲学なるものを発見したのは、消えるけゴールやヤスパースやハイデッガーに於いてよりもむしろ、リルケとニーチェに於いてだった。しかし是は勿論実存主義とは名付け得ないかもしれない。とにかく僕は其處から出発した。そして四年間……僕の帰結は、不思議な事に、現代の実存哲学とは一寸異つた実存哲学だつた。僕の哲学(?)を無理に名づければ新象徴主義哲学(存在象徴主義)とでも言はうか、やはりオントロジーの上に立つ一種の実践主義だつた。存在象徴の創造的解釋、それが僕の意志する所だ。

それから、現代のいはいる(原文のママ)実存主義とは、僕はまるで無縁だ。一口に言ってあの下劣なコッケイさが実存主義なら僕は反実存主義だと言われてもかまは無い。同じく「ハナ」と言つても、花と鼻との相違、いやそれ以上の相違が在ると思ふ。あれは單なる流行主義だ。」

この新象徴主義と初期安部公房の呼んだ安部公房独自の此の哲学は、20歳の論文『詩と詩人(意識と無意識)』に結実して、その内容は詳しく叙述されてゐる。(全集第1巻、104ページ)

[註3] レンズと哲学的な思索と言ふ組み合わせは実に深い関係にあるものと察します。レンズを通して宇宙を觀、細胞を觀るからです。安部公房に次の詩があります。同じレンズと自己を歌つた詩を幾つか挙げます。

〈秋でした〉

六

白い壁の上に 秋の日差しは、
クリーム色に柔らかな影やそよぎを ちつと 静かに夢見ます。
けれど小さな滴がぼつたりと……
おゝ 僕は、大きなゆがんだレンズです。
救ひに両手を差しのべる、
大きなゆがんだレンズです。

次の詩の第一連の「ゆつくりとハンドルを廻はし角度を定め」とは、天体望遠鏡の操作のことです。

〈厚いガラスや〉

厚いガラスや死の様な水銀の板に
悲しげに注ぐ天体の青い光を待つて
彼はゆつくりとハンドルを廻はし角度を定め
心ばせ開いた唇の白い歯は
可愛らしい恋人の接唇でまだ濡れてゐる様に……

けづりたわめた木の枠の中に
固く張られた人工の虚空を見詰め乍ら
彼女はすばやく五月の自然を織り上げる
宇宙を友とする誇らかな恋人の為に
地上の幸ひは相応しい憧れを生むだらう



(全集第1巻、209ページ)

「処女作『終りし道の標べに』には次の同じ「存在象徴と云ふレンズ」が散文の中にある。

私はしばらくの間、その阿片の幕に映つた不思議に明るい光の点を見詰めてゐた。しかも幸ひな事に私の手の中には存在象徴といふレンズが掴まれてゐる。用心深くその関係にそつて、そのレンズを動かして見た。するとやがてその光の点は焦点を結ぶ。それは……。 (全集第1巻、309ページから310ページ)

極め付きは、いふまでもなく『箱男』に入れた作家自身によるカーブ・ミラーのレンズです。

おゝ 僕は、
大きなゆがんだレンズです。
救ひに両手を差しのべる、
大きなゆがんだレンズです。」

[註4]

「時間を空間化する」といふ安部公房用語の意味を作家が論じたエッセイは次の通りです。時間の空間化した時間の其の最たるものが写真です。即ち、初期安部公房から変はらず、窓から観た外界の時間の中にある景色を如何に空間化するかといふ試みが、安部公房の写真の意味です。このことは、安部公房の小説観と密接に関係してゐますので、ここに安部公房の小説観「仮説設定の文学」と「時間の空間化」に関する此の作家の所論の全てを以下に示します：

I 物語は、時間の空間化であるといふ安部公房の小説観

時間の空間化、即ち函数化といふ小説観はこのまま安部公房の演劇観であり、これを演技論に問題下降したものが、安部公房スタジオの演技論の中核概念「ニュートラル」である。

1. 『歴史を棄てるべき時』：全集第25巻、392ページ：武満徹との対談にこのことが出てくる。それから、プロットの強固さについて：ポーから学んだことが。
2. 安部公房氏（散文精神）：全集第28巻、298ページ
3. 『賭け』という小説がある：全集第11巻、305ページ
4. 『作品が命じる』：全集第19巻、21ページ
5. 『作品の側に主導権（私の小説作法）』：全集第19巻、21ページ
6. 『抽象的小説の問題』：全集第7巻、154ページ
7. 『何を書きたいか』：全集第4巻、348ページ
8. 『なぜ書くか』：全集第28巻、69ページ
9. 『生の言葉』：全集第1巻、481ページ
10. 物語とは：第23巻、111ページ
11. わが作品を語る：第30巻、174ページ
12. わが小説（「第四間氷期」）：第15巻、436ページ
13. わが文学の揺籃期：第23巻、24ページ

やはり1970年には、前期20年を振り返ったということ、この題名は意味している。

14. わたし的小説観：第4巻、282ページ
15. わたし的小説作法：第19巻、21ページ
16. わたしの文章：乳5巻、343ページ

17. 周辺飛行1：物語とは（全集第25巻、111ページ）

「物語とは、因果律によって世界を梱包してみせる思考のゲームである。現在というこの瞬間を、過去の結果と考え、未来の原因とみなすことで、その重みを歴史の中に分散し、かろうじて現在に耐え、切り抜けていくための生活技術としての物語。」

18. 私の文学観 演劇観：全集第23巻、350ページ

19. 『僕の小説の方法論』：全集第3巻、177ページ

20. 全集第23巻、109ページ：夢化作用—第13回女流新人賞選評 ここに積算の文学についての自分の創作方法のわかりやすい説明がある。これを活用すること。

21. 『散文精神』：全集28巻、298ページ

22. 『小説の書き方』：全集第4巻、492

23. 『小説の好悪像と書き方（二）』：全集第4巻、492ページ 24. 『小説の秘密』：全集第27巻、54ページ

25. 『小説は考えて』：全集第25巻、537ページ

26. 『小説は無限の情報を盛る器』：全集第28巻、49ページ

27. 『小説を生む発想』：全集第23巻、337ページ

28. 『ストーリー主義の克服』：全集20巻、136ページ

29. 『ストーリーという罫』：全集第8巻、141ページ

30. 『「砂の女」と小説作法』：全集第19巻、207ページ

31. 『創造のプロセスを語る』：全集27巻、29ページ

32. 『創造のモメント』：全集第2巻、98ページ

33. 『誰のために小説を書くか』：全集第2巻、375ページ

34. 『僕の小説の方法論』：全集第3巻、177ページ

II 仮説設定の文学とSF文学論

自分の仮説設定の文学の淵源をポーに求めてみる

1. 私の文学を語る：全集第22巻、42ページ上段 子供のころから文章を書くのが好きだったという発言がある。小学生のころ作り話をして先生に盗作の疑いをかけられて叱られたこと。そうして、中学二年頃に、ポーに熱中したことが発言されている。このインタビューは、この前後も非常に重要な安部公房の発言を含んでいる。

2. 私の創作ノート：全集20巻、162ページ

3. 『仮説の文学』：全集第15巻、237ページ

4. 『仮説・冬眠型結晶模様』：全集第7巻、77ページ

5. 『空想科学小説について』：全集第15巻、237ページ

6. 『空想科学小説の型』：全集第8巻、252ページ

7. 『空想的リアリズム』：全集第7巻、50ページ

8. 『ぼくのSF観』：全集17巻、288ページ

9. 『SFの流行について』：全集第16巻、376ページ

III 小説の構造と言語の構造の一致と同一性の実現

安部公房が考へてみたのは、言語構造と作品構造の一致と同一性の実現である。作品構造がそのまま言語構造である小説を書かうとした。以下、これに関する当該箇所を。

1. 安部公房氏語る：第29巻、194ページ

17. 周辺飛行1：物語とは（全集第25巻、111ページ）

「物語とは、因果律によって世界を梱包してみせる思考のゲームである。現在というこの瞬間を、過去の結果と考え、未来の原因とみなすことで、その重みを歴史の中に分散し、かろうじて現在に耐え、切り抜けていくための生活技術としての物語。」

18. 私の文学観 演劇観：全集第23巻、350ページ

19. 『僕の小説の方法論』：全集第3巻、177ページ

20. 全集第23巻、109ページ：夢化作用—第13回女流新人賞選評 ここに積算の文学についての自分の創作方法のわかりやすい説明がある。これを活用すること。

21. 『散文精神』：全集28巻、298ページ

22. 『小説の書き方』：全集第4巻、492

23. 『小説の好悪像と書き方（二）』：全集第4巻、492ページ 24. 『小説の秘密』：全集第27巻、54ページ

25. 『小説は考えて』：全集第25巻、537ページ

26. 『小説は無限の情報を盛る器』：全集第28巻、49ページ

27. 『小説を生む発想』：全集第23巻、337ページ

28. 『ストーリー主義の克服』：全集20巻、136ページ

29. 『ストーリーという罫』：全集第8巻、141ページ

「長編書き下ろし（仮題「飛ぶ男」）やってて、ひどい病気して。で、入院してる間に、ちょっと焦ったんじゃないか。あんまり長いこと書いていないこともあるし。それで向こう側から、あるものが見えてきたんだよ。」

2. 安部公房さんに聞く：全集第29巻、228ページ：

『カンガルー・ノート』は、「全体がびっくり箱みたいに」「フランス料理から日本の懐石まで全部入っているような」

3. 大江健三郎との対談：「構造が全部ぬけたテントの梁みたいな小説」（全集第29巻、74ページ上段）

IV 安部公房の言語論

『安部公房文学の毒について-安部公房の読者のための解毒剤-』（もぐら通信第55号9の一章「4. 言語論といふ毒（問題下降の毒）」の最後に、安部公房の言語論をまとめて引用しましたので、ご覧下さい。

安部公房の言語論に関する発言はこれ以外にも全集のあちこちに多くありますが、ここでは小説論との関係で僅かに上記の、しかし本質を語つてゐる、参照に留めます。安部公房の言語論に関する作品の総覧はまた別途掲示します。とはいへ、安部公房の言語論は、実は単なる言語論一分野の話ではなく、実にバロック的な人間らしく範疇横断的に、小説構造論、言語とエロス（性愛）論、逆進化論と結びついてゐるのです。それは、全集の次のVに掲げた当該ページをご覧ください。いずれにせよ、言語論の総覧は稿を改めて別途掲示します。

V 逆進化論

この年1978年は、『密会』の刊行後で、逆進化の言葉が多い。とすると、『密会』とは、逆進化論、そして言語とエロス（性愛）、言語構造と小説構造、言語のデジタルとアナログ性を巡る小説といふ事になる。これらの主題に関する発言は、全集の次のページに明確である。

1. 全集第26巻、143ページ：「密会」の安部公房氏
2. 全集第26巻、146ページ：構造主義的な思考形式：渡辺広士のインタビュー
3. 全集第26巻、193ページ：都市への回路：『密会』を巡って逆進化論が始まる。

安部公房のエッセイを収録した単行本は、新潮社の全集による分類によれば評論集といふ名前になつてゐる。生涯で、安部公房は次の4つの評論集を出してゐます（全集第30巻「著書一覧」191~199ページ）。これら四冊の上梓の間に此のインタビューを入れると、そしてついでにやはり何々集と呼ぶならば私たち読者には欠かすことのできない夢を描いたエッセイ集『笑う月』も入れてしまへと云ふことで入れてしまへば、その時間順の並びは次のやうになります。

1. 1957：猛獣の心に計算機の手を [評論集]
2. 1965：砂漠の思想 [評論集]
3. 1971：内なる辺境 [評論集]
- 1975：笑う月 [エッセイ]
4. 1978：都市への回路 [インタビュー]
5. 1991：死に急ぐ鯨たち [評論集]

更に欲張つて、1980年1月1日に『藝術新潮』に連載を開始して翌年12月号まで連載された『都市を盗る』と云ふ、此の発表年度を一覧して判る通りの、1980年初から箱根の山荘に籠る安部公房隠棲の開始を告げる最初の作品を更に付加し、加へて此れも『周辺飛行』論にて既述の通り、安部公房スタジオの活動の終了を告げるリルケの『涙の壺』を下敷きにしたエッセイ『水の壺から水を飲む』もまた、同じ終了と開始の予告として入れれば、1970年代から没年の1993年までの里程標の全体は次のやうになります。『もぐら日記』も入れます。

1. 1957：猛獣の心に計算機の手を [評論集]
2. 1965：砂漠の思想 [評論集]
3. 1971：内なる辺境 [評論集]
- 1975：笑う月 [エッセイ]
4. 1978：都市への回路 [インタビュー]
5. 1980（1月～）：都市を盗る [フォト&エッセイ]
6. 1980（4月）：涙の壺から水を飲む [エッセイ]
7. 1985（5月）：もぐら日記 [エッセイ]
8. 1985（10月）：もぐら日記II [エッセイ]
9. 1989（1月）：もぐら日記III [エッセイ]
5. 1991：死に急ぐ鯨たち [評論集]



これらの間に『密会』（1977）『方舟さくら丸』（1984）が入り、最後の長編小説『カンガルー・ノート』が『死に急ぐ鯨たち』の後に、しかし同年に、置かれます。

上記の年譜を見ますと、『都市への回路』は、安部公房スタジオの後期5年の中に収まる1年間の連載インタビューです。それでは、三つの『もぐら日記』に継続して都市論がやはり論ぜられてゐるかと思ふ問を私たちは立てることになりますが、これはもう少し先へ行つて吟味することにしませう。以下当時このインタビューが一挙掲載された文藝月刊誌『海』に依つて『都市への回路』を論じたい。

(続く)



Mole Hole Letter (68)

超越論 II (第十二回)

岩田英哉

ムスビと中今の関係を説明する前に、再度頭の体操をすることにしませう。中今といふ概念またはコト・タマは次の時間単位の等価交換のコトでありました。

今日は昨日の明日、今日は明日の昨日
昨日という今日は明日という今日の昨日
明日という今日は昨日という今日の明日

即ち、上の三例の連続でお判りの通り、昨日と明日は今日という一日の単位の場で等価に交換することができる。即ち、この今日は昨日であり明日である。単位に時間は存在しない。

上の中今の概念を理解するための頭の体操問題を、文例もう少し短くして次のやうにします。



今日は明日の昨日
昨日は明日の今日
明日は今日の昨日

この三行が上から下に、この順序で円滑に理解できたら、あなたは中今といふ太古・古代以来の概念を理解したといふことになります。また逆に下から上に読むのも良いでせう。合格も不合格もありませんので、次へ進む前に、納得の行くまで繰り返し読んで下さい。これと同じコトを日本人の相場用語では、未だはもう也、もうは未だ也といひ慣わして来ました。同じことをいつてあます。同じ例を色々な分野から集めて示しますので、この概念連鎖に慣れて下さい。

安部公房が出したドナルド・キーンさん宛の手紙にある最初の一行、

「前略 これは、先月中に書く予定の手紙です。」
(『ドナルド・キーン宛書簡 第15信』全集第25巻、34ページ)を

これは「Mole Hole Letter (3) : 超越論」(もぐら通信第68号)でも論じ



じた手紙ですが、安部公房の手紙は、手紙を書く前に既に手紙は未来の時間の中で（過去の時間としてある現在に）書かれ終はつてゐるといふわけです。これが安部公房の文学の世界であり、超越論の文学だといふ意味がお判りでしょう。安部公房の文学活動は、このコト・タマ視点でいふと、時間の空間化、でした。

また、『リルケの『オルフェウスへのソネット』を読む（15）～安部公房をより深く理解するために～』（もぐら通信第70号）よりリルケの詩の一行を引用して、同じ超越論の中今概念の格好の例として示します。これで、何故十代の少年安部公房がリルケに惑溺したかも理解することができませう。オルフェウスとは古代ギリシャの神話に生きる美青年で、常に毎瞬毎瞬自分以外の何かに変身をし続ける（文字通りの）存在です。ここでは、この神話的存在である美青年は、味覚に変身してゐる。

「待て、お前たち、美味しいなあ、おいしい。と、思ったらもう、その味は逃げてしまっている。」〔註1〕といふ味は、既にこのままオルフェウスであり、味がオルフェウスならば、この味は其のまま安部公房です。あつ、安部公房が其処にゐる、と思つたら、「既にして」思ひ、振り返つてみる「以前」に、もはや其処にはゐない。未だはもうなり、もうは未だなり。といふわけです。

〔註1〕

この詩篇の全体は次のやうなものです。原文と和訳を掲げます：

「XV

WARTET..., das schmeckt... Schon ists auf der Flucht.
Wenig Musik nur, ein Stampfen, ein Summen —
 Mädchen, ihr warmen, Mädchen, ihr stummen,
 tanzt den Geschmack der erfahrenen Frucht!

Tanzt die Orange. Wer kann sie vergessen,
 wie sie, ertrinkend in sich, sich wehrt
 wider ihr Süßsein. Ihr habt sie besessen.
 Sie hat sich köstlich zu euch bekehrt.

Tanzt die Orange. Die wärmere Landschaft,
 werft sie aus euch, daß die reife erstrahle
 in Lüften der Heimat! Erglühte, enthüllt



Düfte um Düfte. Schafft die Verwandtschaft
mit der reinen, sich weigernden Schale,
mit dem Saft, der die Glückliche füllt!

【散文訳】

待て、お前たち、美味しいなあ、おいしい。と、思ったらもう、その味は逃げてしまっている。

音楽もひどく少ないじゃないか。足を踏み鳴らす音、ぶんぶん言う音、娘たちよ、お前たち暖かいものたちよ、娘たちよ、お前たち黙っているものたちよ、踊れ、経験した果実の味を踊るのだ。

蜜柑を踊れ。誰が、蜜柑の味を忘れることがあろうか、どのように蜜柑が自らの中に溺れ、その

味を味わい尽くして死に、そうして同時に、蜜柑の甘く存在しているということに抵抗して我が身を護るかを、だれが忘れることがあろうか。（だれも忘れることはないのだ。）お前たちは、蜜柑を所有した。蜜柑は、美味に、類稀れな味を以って、お前たち（娘たち）に回心したのだ。

蜜柑を踊れ。もっと暖かい景色、それをお前たちの中から放り出せ、そうすれば、熟した蜜柑が、ふるさとの空気の中で、輝きを放つだろう、そのように。光かがやくもの、蜜柑よ、芳香を、ひとつまたひとつと剥（む）かれて、露わになってゆく。お前たち、娘よ、純粋な、自らを拒む皮と、親しい、類縁の関係を創造せよ、幸福なるもの、すなわち蜜柑を満たす汁液との親しい関係を創造せよ。」

十八世紀の江戸時代の商人と相場師は、この「待て、お前たち、美味しいなあ、おいしい。と、思ったらもう、その味は逃げてしまっている。」といふ味」を捉へるためにローソク足と、今は日本一国に留まらず、2000年前後のインターネット上での売買ができるようになってから此の方Candle Stickと英語で呼ばれて、世界中の機関投資家と個人投資家の間で使はれてゐる此の「未だはもうなり、もうは未だなり」を視覚化した発明者が、本間宗久と呼ばれてゐる素質として生まれついで、今の山形県酒田の産の天才相場師です。もう一人が二十世紀に生まれた一目散人こと細田悟一であつて、こちらは努力型の天才相場師といふべきでせうか、何故努力型といふかといへば、その苦心の事績が資料として残つてゐるからですが、しかしアメリカの発明王エジソンのいふやうに天才といふ凡人の能力を遙かに凌駕する能力のうち99%が努力であるならば、それはさうでせう、天才は愚直に努力する人といふことであれば、二人



とも限定辞抜きに、その事績と実際の成果をみれば、天才です。この天才二人について、ここで話しておきたい。何故ならこれが日本人の太古・古代以来の優れた、動くものの変化するものに関する認識能力だからです。認識すれば存在する。認識しなければ其れは無である。いひかへれば、今世界中の市場・マーケット、即ち東京、ニューヨーク、ロンドン、フランクフルトの市場で毎瞬毎瞬全てのトレーダーが此のローソク足を見てゐる。相場師は玄人、トレーダーも本来玄人の筈ですが、アメリカ人の発明の常でインターネットも「贗の現実」として其のまま大衆化し、時間と距離が0になつた仮想現実が世界中で共有されて、従ひ略称されてネットと呼ばれるまでになつて通俗化の極みとなりましたから、膨大な数の素人も含み（一定の成果を挙げてゐるならば素人も勘定に入れて）トレーダーと一括して呼ぶことにして、この二つの語は文脈によつて使ひ分けることにします。即ち、MADE IN JAPANのローソク足が世界中の金融機関も個人トレーダーをも領してゐる。欧米人ならば支配してゐるといふところです。この言葉を使ふならば絶対的な支配です。いつものことですが、日本人には此の自覚が欠落してゐる。自己を客観的に評価できない愚かな人間どもよ。私の此の一文が愚かなる今の（今の、である）日本人の覚醒になれば良いと念ずる。

さて、そして、相場とは何かといふことをあなたに理解してもらふために、私たちの認識に関する基礎的な現象と出来事に関する認識論の事実についての理解を、あなたと共有しておきたいので、時間と空間に関する次の基本的な説明を予備的にしておきたい。

(1) 方向には二種類あるといふこと。一つは水平方向であり、もう一つは垂直方向であること。

(2) 垂直方向は高さであるから、時間は存在しない。これに対して、

(3) 水平方向には二種類あり、一つは此の方向を時間だと見立てた方向(a)であり、もう一つは距離だと見立てた方向(b)です。

(4) ものの売買をする場合に、あるいは利益を念頭に計画を立てる場合にも、欧米・白人種・キリスト教徒は例外なく、その宗教上の時間論のせいで、水平方向を時間軸(b)と思ひ込んでゐます。従ひ、水平方向を移動する平均値で考へる。あるいは、平均値の連続的な移動として時間の中での価値を捉へようとする。これが誤りであり、誤つた認識であることは、ここまで述べて来ましたので、お判りだと思ひます。要するに連続的な平均値の線を使つてトレードしても、この線は錯誤の線ですから、利益創出のための判断はできないのです。ですから、彼らは過去の短い期間を基準にした平均値と長い期間を基準に

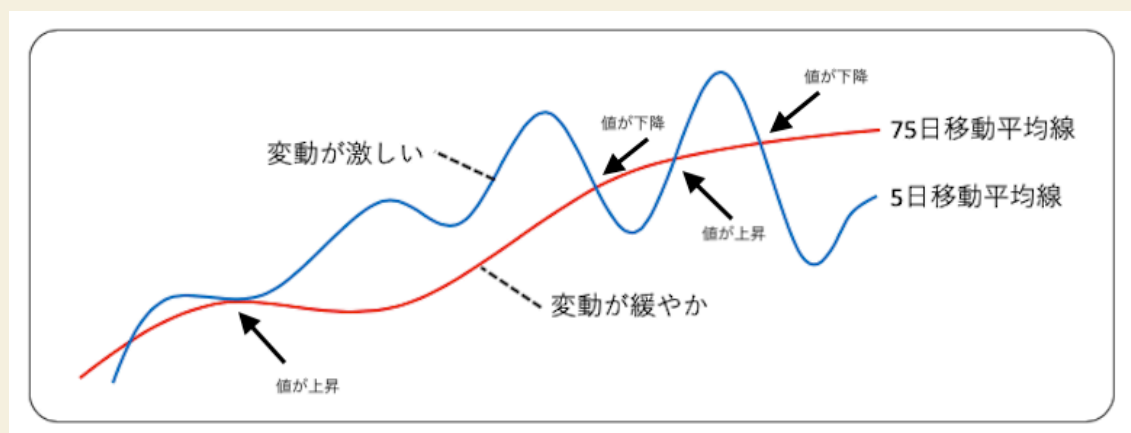
した平均値の差異をみて（交差点を見て）そこで価値の上下を見て売買の判断をする目安としてゐる。これがキリスト教圏のトレーダーの世界です。この移動する平均値を線で表したものを移動平均線（moving average）と云ひます。

移動平均線とは、過去の或る一定の期間を任意に決めて其の単位期間の平均値を日々・時々刻々・毎分刻々と記録して、連続的な変化する線として表示するものです。従ひ移動平均線とはすべて過去の資料でありデータです。後掲します。

これに対して、私たちの中今（といふ概念またはコト・タマ）による表現は、時間を捨象して最初から時間を等価交換可能な形に変形させて上下の価値の落差を、といふことは垂直方向ですから時間は存在しない表現として単位化したローソク足といふ時間単位即ち価値の単位です。昨日は明日の今日である。この図形は後掲します。即ち、

（5）価値とは、垂直方向の落差または差異なのであり、水平方向に価値は出現しないのです。価値を私たちが問題にする時には、どの領域における価値であれ、常に垂直方向を意識・無意識に前提にして論じてゐるといふことです。これを肝に銘じて忘れないで下さい。これを正反対に無価値な水平方向といふ方向のこととして錯誤すると、あなたはお金（money）を失ふ。さて、

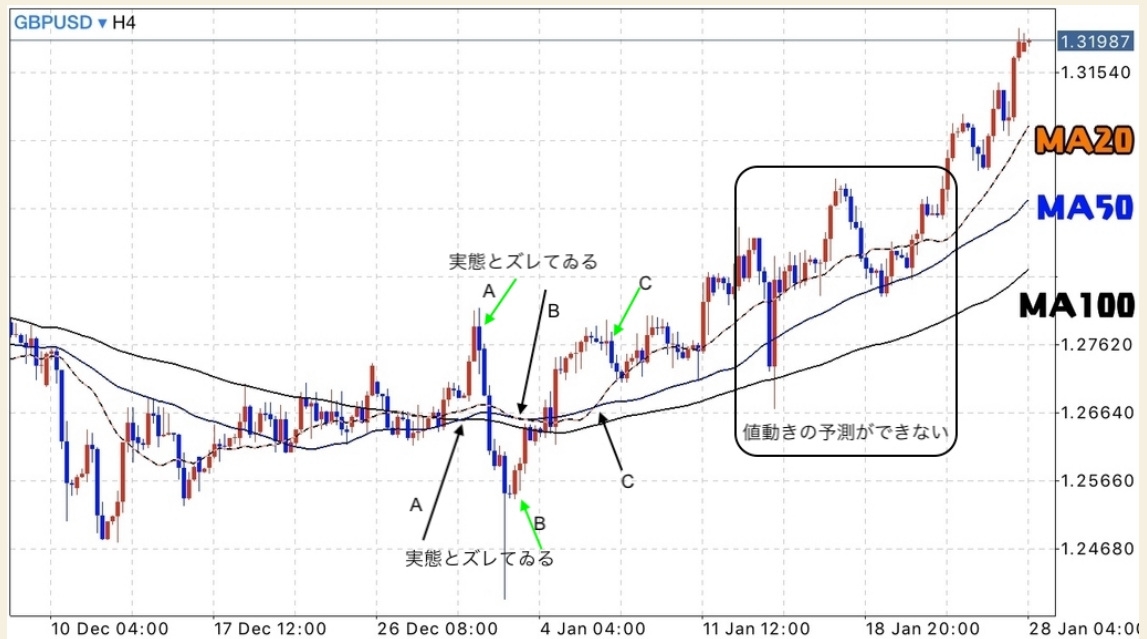
「（3）水平方向には二種類あり、一つは此の方向を時間だと見立てた方向(a)（欧米・キリスト教型方向認識と呼ぶことにします）は、次のような表現になつてゐます。表現とは見えてゐると思つてゐるものを別のものに置き換へることです。下図をご覧になれば、感じが掴めると思ひますが如何。



これに対して「(3) 水平方向には二種類あり」、垂直方向の認識の「もう一つは距離だと見立てた方向(b)」(日本型方向認識またはあなたが望むならば縄文型方向認識と呼ぶことにし)。要するにアメ・ツチ(天地)の間といふコトです。天地初発の時といつたら此れは欧米流に云へば無時間の世界での認識論であり存在論の初発です。従ひ時間に初めもなければ終わりもない。これがローソク足です。黒い足は下落、白は上昇です。

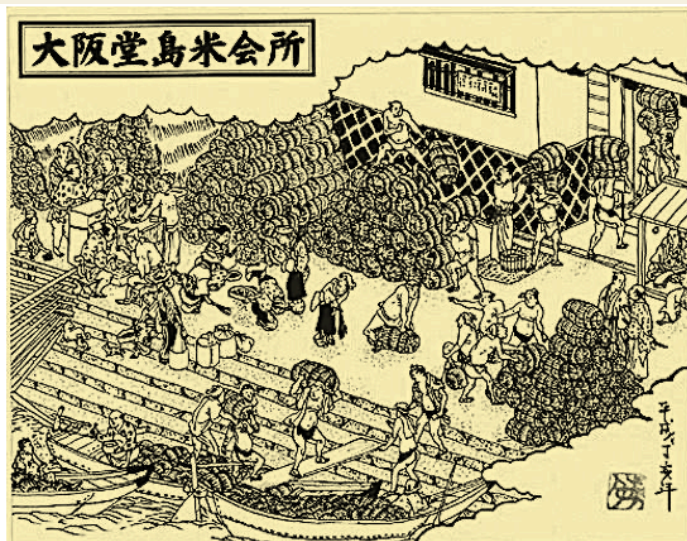


欧米人は、自分たちのキリスト教型の時間感覚(連続量としての切れ目のない時間感覚)を離れることができないので、自動平均線の上にローソク足を載せて補助的な使い方をしてゐます。掲げます。この図中、ローソク足が実態を表すと考へて、線の方を眺めれば、実態の値からズレてゐることが一目瞭然です。即ち平均値の曲線同士が交差した時では既に判断が遅いのです。時間が差異でありズレでありますから、実態のないズレのズレである交差をあてにしてはいつもトレードの機会が遅延して利益を失ふ。これでは正確なトレードはできない。従ひ、私の知る一流の日本人のトレーダーはみなローソク足だけで相場を読んでトレードしてゐます。



ここで、江戸時代の十八世紀の資本主義の恐るべき成熟について説明をしたい。欧米の近代の資本主義は日本に250年遅れて生まれた。果たして今の欧米の資本主義が成熟と呼ぶに値するものかどうかはう疑はしい。何故なら、そこには銭金が儲かれば良いといふだけで、道義・道徳が欠落してゐるからです。日本が第二次世界大戦を戦つた時に、日本人は戦争の根本にある動機をモラーリッシュ・エネルギー即ち道義力と呼んでゐた。第二次世界大戦は道徳観の戦ひでもあつたといふことです。さて、かくして、日本の18世紀の江戸時代の発明になるローソク足が今の世界を席卷してゐるのであれば、江戸時代の、日本の資本主義の核心である相場に関する認識論が世界を、この二十年支配してゐること、そしてこれからも未来の資本主義の核心を支配するとといふことを明確にあなたに知つて欲しい。牧野武文著『250年前のでデリバティブ 本間宗久と堂島米会所の米先物取引』に拠つて解説します。要するに結論を先にいへば、今の日本ならば日経225とか、アメリカならばダウとかS&P300とか500とかいはれてゐる指数取引を250年前に江戸・大阪・酒田でおこなつてゐたといふことです。さうであれば、私の疑問は、一体明治維新とは何であつたのか？といふ疑問です。私の目には、資本主義といふ視点からは退化としてしか見えない。経済制度がさうならば、政治制度も同様ではないのか？文化程度も同様ではないのか？如何か。即ち、かく相場の本質を考察すれば、私たちは明治維新のお題目であつた王政復古を否定して何処かへと復古しなければならぬ。大体天皇・すめらみことは王様(king)ではない。また、英語にはこれ以外の言葉がないので誤訳されるemperor・皇帝でもない以上、このお題目は間違いであつた。王様が復古するのはイギリスを含めたヨー

ロッパの話です。この投資と相場といふ資本主義の核心から眺めても、王政復古を否定して其れ「以前」に戻らねばならないといふ結論になるので、公武合体政策を解消して、やはり私には京都遷都するといふ選択肢が、現下の近代国家としての日本国の諸問題の最善の解決策であると考へる。公武合体政策は有効期間が切れて、お仕舞ひ。これについては何をどうするのかといふ骨子を後述します。超越論は日本論の本質論なのであり、日本を論ずれば初めも終りも超越論になるので、話はどうしても其処に、遷都問題に至るのです。何故遷都問題に至るかといふ理論的な話は文明論になります。これも後述します。日本一国の文明の論理としてさうである。さて、「250年前のでデリバティブ」と「本間宗久と堂島米会所の米先物取引」の話です。引用します。



堂島米会所では、実際の米を売り買いする正米市場と、先物取引である帳合米市場があった。帳合米とは「帳簿の上で合わせる米」の意味で、まさに指数取引を意味している。

「はじめに

金融の話がでると必ず「米国的な金融＝ギャンブル資本主義が日本を腐らせようとしている」といいだす人がいる。日経先物のような金融派生商品（デリバティブ）やFX（外国為替証拠金取引）に対しても、「ギャンブルだ」「実体経済を空洞化させる」という批判が強い。しかし、こういった高度な金融システム＝先物取引、デリバティブ取引は、江戸時代に日本で発明されたものであることを忘れてはいる人は多い。しかも、金儲けのために創設されたのではな



江戸時代、世界でもっとも進んだ金融システムが確立していた堂島米会所跡。現在の大阪市北区堂島浜1丁目あたり。



く、農業経営や経済を安定させる目的で先物市場は創設されたのだ。米先物取引がおこなわれていた大阪の堂島米会所では、現在の日経先物と同じように、“指数を売り買いする、”という高度なことがおこなわれていた。実体の裏づけのない“価格指数”を売り買いしているのだから、まさにバーチャル取引で、ギャンブル資本主義そのものだと思っている方も多いかも。当時の江戸幕府の幕閣もまったく同じ意見だった。先物取引は、米価を高騰させるだけの害悪でしかないと判断して、何度も禁止令をだし、先物取引をつぶそうとしてきた。しかし、大阪の商人たちは、それに対抗して、知恵を使い、幕府の目の届かないところで、さまざまな金融システムを進化させていく。それは儲けたいという欲からではなく、ビジネスを円滑に進めたい、安定した経営をしたいという実用上の要請からでてきたものだった。そのために、大阪商人たちは知恵を絞り、堂島米会所の開設にこぎつけるのだ。今回は、堂島米会所の開設までの道のりと、堂島米相場で莫大な財を築いた“相場の神様”、本間宗久を紹介しよう。」

二十一世紀の今も尚現代の政権幕閣の政治家と官僚の相場先物取引観は消極的、今の江戸たる東京とそして大阪を始めとする（大企業を含む今でいふビジネスマンの）商人の相場先物観はリスク・ヘッジに積極的といふ此の構図は、250年後の今も変はらないと私には見えます。一体この間の時間に、日本人は経済学的にみれば、進歩したのか、退歩したのか。私の認識は後者です。外国為替取引・FX・Forexの其れまでブローカー毎に自由であつたレヴァレッジを、2008年9月15日のリーマン・ショックの後に慌てふためいて碌な科学的根拠も示さずに25倍に落として取引の自由に制限を加へてトレードの条件を悪化させ、そして其れは何故かといふと自分の生活が国民の血税で成り立つてあるといふことを忘れて国民に対する感謝の心を忘れたが故に単に臆病であり従ひ愚かなる其のやうな財務省の木っ端役人どもには、自らの愚策のせいで何故資金が海外に流出するかも理解できないのである。以下、信用取引に関する重要な250年前の成熟した江戸時代の資本主義を理解するために必要な箇所を同書を借りて引用を続けます。一連の引用の後に、一人目と二人目の天才相場師の相場観の話をする、上記のローソク足（この足の総体をカタカナ語でチャート（chart）とトレーダーたちは呼んでゐる）の理解が進み、同じ論理が私たちの身边にあるどころか、古事記にも上述の通りに書かれてゐることが、そして何故等価交換が其の差異にあつて行はれ（日本のトレーダーは執行と呼んでゐるのは英語のexecuteの訳語だからでせう、経営者・executivesと同じく相当に高度な判断を必要とすることが判ります。）何もないと見える差異の無から有である富が際限なく生まれるのかといふ事実を理解することができるでせう。理論上、貨幣・moneyは無限に、泉から水が滾滾（こんこん）と湧いて出てくるやうに出てくるのです。それでは現実はどうなるのか、といふ話をあわせてしたい。経済学の本質である貨幣論（money論）の話です。しかし、これが言語の本質論でもあるのです。既にマトリクスで示したやうにコト・タマ論といつても良い。

（続く）

縄文紀元論

Topologyで日本人を読み解く (27)

5.19 クラとは何か

目次

I 縄文紀元日本語論

1. 日本語と漢語の関係

Intermezzo：何故日本にはキリスト教徒が全人口の1%しかみないのか？

2. 日本語の音義と概念の関係：五十音表とは何か

3. 五十音表を記号化する

4. 日本人の言語宇宙

5. 古事記の宇宙観

5.1 高天原とは何か1

5.2 カミとは何か1

5.3 高天原とは何か2

5.4 日本語の特殊の中の普遍

5.5 海の民のお祭りと超越論の関係

5.6 天照大神とは何か

5.7 月読命とは何か

5.7.1 月とは何か

5.7.2 月読命とは何か

5.7.3 月読神社とは何か

5.7.4 ヤシロとは何か

5.7.5 「鹿座神影図」を読み解く

5.7.6 磐座と注連縄の関係

5.7.7 亀の甲羅とは何か

5.7.8 習合とは何か

5.8 カタカナとひらかなの関係

Intermezzo 2：海風之大刀（アマナギ・ノ・タチ）は一体どんな姿をしてみるのが

5.9 日本位相習合史

5.10 何故国家は単数または複数の神とともに生まれるのか

5.11 かごめかごめの歌は一体何を歌っているのか

5.12 縄文土偶とは一体何か

5.13 習合といふ漢意をやまところろで何といふのか

5.13.1 位相史のための紀元の分類

5.13.2 淤能碁呂島とは何か

5.15 縄文土器とは何か

5.16 大祓へを読み解く

5.16.1 何故私たちは御祓を必要とするのか

5.16.2 大祓へに唱へられる「聞こし召す」とは何か

5.16.3 「聞こし召す」前に「しろし召す」がある

(1) 第一段：高天原八百万神大祓ひ会議

(2) 第二段：大倭日高見国内の天津罪と国津罪の分類と大祓

(3) 第三段：大倭日高見国は大祓の結果どうなつたか

5.16.4 八の音義は何を意味するか

Intermezzo 3 伊勢神宮とは何か

Intermezzo 3-1 伊勢神宮をやまと言葉で読む

5.16.4-1 八の音義は何を意味するか2



青字は既論の章、赤字は今回論ずる章、黒字はこれから論じる章

- 5.16.5 誰が「しろし召し」誰が「聞こし召す」のか
- 5.17 いほりとは何か
- 5.18 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてゐるか
- 5.19 クラとは何か
- 5.20 ダイダラボッチと巨人伝説：大倭日高見国と播磨国：房総半島と瀬戸内海の交流の歴史
- 5.21 日本人はどこから来たか

5.19 クラとは何か

待て次号

編集後記

●巻頭詩（30）：冬の噴水：ジョン・ホロウェイ：本邦初訳かもしれませんが。かういふ詩を今の日本の詩人は書くことができないのです。

●周辺飛行（54）：4。『安部公房スタジオ会員通信』（11）：第11号：最終回：これで一通り安部スタ時代の通覧は終りとします。必要に応じて当時のエッセイその他の資料を使つて論じたい。

●贗物の国アメリカ（5）：何故アメリカは何でもかんでも大衆化し通俗化するのか：本当にアメリカ人であることは大変だ。しかし、彼らのいふ自由には、拳銃と命を引き換へにしてでも憧れるものがあります。子供の頃よくTVで映してゐた早撃ちガンマンなど想ひ出すと、その精神は今も変はらない。

●ネット・モナド論（22）：YouTube論（version 2.0）：MHL Bで配信したもののversion 2.0です。外交後は難しいのは、それは現地の人たちの生活があるからで、これを隅から隅まで知るには現地の人でなければなかなか解らない。または、全く異質の視点から視線を描いて射抜くかいづれかです。私は外人なので後者です。

●『都市の回路』論（1）：いよいよ安部公房の都市論を本格

差出人：

安部公房の広場

〒182-0003東京都調布市若葉町

「閉ざされた無限」

的に開始します。

●*Mole Hole Letter*（68）：超越論II（第十二回）：もう12回目かと驚きました。この調子で急がずに進めたい。

安部公房の広場

連絡先：eiya.iwata@gmail.com



【もぐら通信の収蔵機関】

国立国会図書館
「何處にも無い図書館」

【もぐら通信の編集方針】

1. もぐら通信は、安部公房ファンの参集と交歓の場を提供し、その手助けや下働きをすることを通して、そこに喜びを見出すものです。
2. もぐら通信は、安部公房という人間とその思想及びその作品の意義と価値を広く知ってもらうように努め、その共有を喜びとするものです。
3. もぐら通信は、安部公房に関する新しい知見の発見に努め、それを広く紹介し、その共有を喜びとするものです。
4. 編集者自身が楽しんで、遊び心を以て、もぐら通信の編集及び発行を行うものです。